

# バングラディッシュ海事産業概況調査

2015年3月

一般社団法人 日本船用工業会  
一般財団法人 日本船舶技術研究協会



## 刊行によせて

当工業会では、我が国の造船業・船用工業の振興に資するために、ボートレースの交付金による日本財団の助成金を受けて、「造船関連海外情報収集及び海外業務協力事業」を実施しております。その一環として、ジェトロ関係海外事務所を拠点として海外の海事関係の情報収集を実施し、収集した情報の有効活用を図るため各種報告書を作成しています。

本書は、(一社)日本船用工業会と日本貿易振興機構(ジェトロ)が共同で運営しているジェトロ・シンガポール事務所船用機械部(竹内智仁所員)が、バングラデシュの海事産業の概要について調査した結果を取りまとめたものです。

本書が関係者の皆様の参考となりましたら幸いです。

2015年3月

一般社団法人 日本船用工業会



## はじめに

日本の多くの方々が抱くバングラデシュのイメージは、小さい国土に 1 億人を超える人口、世界最貧国の一つで、サイクロンや洪水など大災害に度々見舞われ、海事分野においては劣悪な労働環境下で行われる船舶解体の国、というものではないでしょうか。

それらは確かにバングラデシュの抱える事実であり課題ですが、他方で、民間を中心に堅調な経済成長を続け、GDP 成長率は過去 5 年間平均で 6%超を維持しており、主要輸出品である繊維製品は中国に次いで世界第 2 位の位置を占めている、といったことはあまり知られていません。2005 年、ゴールドマンサックスの報告書では BRICS に続く新興経済国群「NEXT11」の一つに位置付けされました。消費力も拡大し、ダッカ市内では海外ブランドショップも多く見かけるようになってきました。その国旗が示す「緑の大地から昇る太陽」のごとく、着実に成長を続けています。

バングラデシュは非常な親日国で、従来我が国と良好な関係を保っていますが、2014 年は両国関係にとって特筆すべき年となりました。5 月にはハシナ首相が日本を訪問、同年 9 月には安倍首相が日本の首相としては 14 年ぶりにバングラデシュを訪問し、政治、経済、安全保障、文化といった多分野でより深い関係の構築を目指す共同声明を発表しました。特に経済協力については今後 4~5 年間で最大 6000 億円の経済支援がコミットされるなど、両国のビジネス面での結びつきを一層深め、連携の機会増大を期待させる内容となっています。

こうした動きは海事分野の成長にもつながるものと期待されます。ガンジスデルタに位置する同国は、大小 700 もの網目のように広がる河川により国土が寸断されており、河川輸送が物流・人流において大きな役割を果たしています。首都ダッカとほぼ唯一の国際港チッタゴンを結ぶ幹線道路は一つしかなく、増大する輸送需要への対応が困難となっているなど、今後の物流増加に伴う内航船・浚渫船需要の増大が期待されます。また、造船国としては安価な労働力を武器に中小型船の一定の受注を確保していき、欧州への輸出実績も持っています。

しかしながら、これまでこうした状況はほとんど我が国では知られておらず、また、産業指標関連データも未整備です。本報告書では、バングラデシュの海運・造船業の全体像の把握に役立つよう、それぞれの産業の概要、主要企業、船用機器の輸入動向、関係省庁や団体といった基礎的情報・指標を中心に収集に努めました。

本報告書がバングラデシュにご関心の皆様のお役にたてば幸いです。



# 目 次

## 略語表

第 I.章	バングラデシュ概要	1
第 1.01 節	地理および人口	1
第 1.02 節	経済概況	3
(a)	GDP 推移	3
(b)	GDP 構成	4
(c)	輸出入	5
第 II.章	バングラデシュの海運・水運	7
第 2.01 節	バングラデシュの物流	7
第 2.02 節	国際海運	8
(a)	主要航路、主要港	8
(b)	国際海運に従事する海運会社及び船舶	12
第 2.03 節	内陸水運	17
(a)	河川及び航路	17
(b)	内陸水運に従事する船舶	18
(c)	内陸水運公社による輸送状況	18
(d)	内陸水運のメリットとリスク	21
第 III.章	造船及び船舶修繕業	22
第 3.01 節	産業の概要	22
第 3.02 節	バングラデシュ造船業の競争力と課題	23
第 3.03 節	各造船所の概要	25
(a)	ANANDA SHIPYARDS AND SLIPWAYS LTD	25
(b)	WESTERN MARINE SHIPYARD LTD	28
(c)	KHULNA SHIPYARD LTD	32
(d)	WESTCOAST SHIPBUILDING INDUSTRIES LTD	33
(e)	HIGHSPEED SHIPBUILDING & ENGINEERING CO., LTD	34
(f)	KHAN BROTHERS SHIP BUILDING LIMITED	37
(g)	CHITTAGONG DRY DOCK LTD	40
(h)	KARNAFULY SHIP BUILDERS LTD. (KSBL)	41
第 IV.章	造船関連資機材の輸入動向	43
第 4.01 節	造船関連資機材輸入実績	43
第 4.02 節	主要造船所別輸入額	43
第 4.03 節	資機材調達に係る現地造船所の意識 (A 社ヒアリングより)	47

第 V.章 海事関連公的機関及び業界団体	48
第 5.01 節 行政機関及び業界団体	48
第 5.02 節 海事関連の教育機関	50
(a) 造船関係	50
(b) 海運関係	51
第 5.03 節 政府・協会の活動	52
第 VI.章 バングラデシュの海事展	53
付録 1 : チッタゴン海運局登録船舶 (外航商船)	56
付録 2 : チッタゴン港貨物取扱実績等 (出所: チッタゴン港湾局ウェブサイト)	58
付録 3 : モングラ港貨物取扱実績等 (出所: モングラ港湾局ウェブサイト)	60
付録 4 : 主要海運代理店及び船舶オーナーリスト	62
付録 5 : 造船企業リスト	66
付録 6 : 主要造船会社 船舶建造実績 (竣工ベース、2008~2013)	68
付録 7 : バングラデシュにおける関連省庁及び業界団体リスト	70
付録 8 : 輸入方針法令 2012-15 (商務省) より抜粋 船舶及び機械輸入関係	71
付録 9 : バングラデシュ長期ビジョン 2010-2021 (造船関連部分抜粋)	76

## 略語表

3PL	Third Party Logistics
4PL	Fourth Party Logistics
ACAB	Association of Cargo Agents of Bangladesh
ADB	Asian Development Bank
ADP	Annual Development Program
APL	American President Lines Ltd.
AIT	Advance Income Tax
ATV	Advance Trade VAT
ASSL	Ananda Shipyard and Slipways Limited
ASYCUDA	Automated Systems for Customs Data
BAFFA	Bangladesh Freight Forwarders Association
BBS	Bangladesh Bureau of Statistics
BCVOA	Bangladesh Cargo Vessel Owners Association
BGB	Bangladesh Border Guard
BGMEA	Bangladesh Garment Manufacturers and Exporters Association
BIWTA	Bangladesh Inland Water Transport Authority
BIWTC	Bangladesh Inland Water Transport Corporation
BLPA	Bangladesh Land Port Authority
BN	Bangladesh Navy
BSAA	Bangladesh Shipping Agents Association
BSBK	Bangladesh Sthala Bandar Kartripaksha
BSC	Bangladesh Shipping Corporation
CAAB	Civil Aviation Authority Bangladesh
CBM	Cubic Meters
CFS	Container Freight Station
CD	Custom Duty
CMA	Compagnie Maritime d'Affrètement (CMA CGM)
CN	China
CPA	Chittagong Port Authority
CPTFP	Chittagong Port Trade Facilitation Project
CU. FT.	Cubit Feet
CTMS	Container Terminal Management Systems
DE	Germany
DK	Denmark
DOS	Department of Shipping

EMS	Estate Management System
FTL	Full Length Truck Load
GDP	Gross Domestic Product
GPS	Computerized Gate Pass System
GOB	Government of Bangladesh
GR	Greece
GSL	Gold Star Line Ltd.
GT	Gross tonnage
HJS	Hanjin <i>Shipping</i> Co. Ltd
HMS	Hospital Management System
HP	Horse Power
ICD	Inland Container Depot
ICT	Information & Communication Technology Division
IN	India
IT	Information Technology
km	Kilometers
KSY	Khulna Shipyard
KR	South Korea
LAD	Least Available Depth
LOA	Length Overall
LTL	Less Than Truckload
m	Meters
MCC	Maersk Bangladesh Ltd
MOS	Ministry of Shipping
MPA	Mongla Port Authority
MSC	Mediterranean Shipping Company
MSL	Midland Shipping Lines Ltd
MT	Metric Tons
MY	Malaysia
NGO	Non-governmental organization
NT	Net tonnage
NL	Netherlands
NRPC	National River Protection Commission
NVOCC	Non Vessel Operating Common Carrier
NYK	Nippon Yusen Kaisha
OOCL	Orient Overseas Container Line
PIL	Pacific International Lines
PMIS	Personnel Management Information Systems
PPA	Paora Port Authority
PTAS	Port Trade Automation System

<b>RD</b>	Regulatory Duty
<b>RMG</b>	Ready Made Garments
<b>SD</b>	Supplementary Duty
<b>SAF</b>	Safmarine Container Lines N.V.
<b>SG</b>	Singapore
<b>Sq. Km.</b>	Square Kilometers
<b>Sq. M.</b>	Square Meters
<b>TEU</b>	Twenty foot Equivalent Units
<b>Tk.</b>	Bangladeshi Taka
<b>TTI</b>	Total Tax Incidence
<b>UK</b>	United Kingdom
<b>VAT</b>	Value Added Tax
<b>VN</b>	Vietnam
<b>WMS</b>	Western Marine Shipyard Ltd
<b>YML</b>	YangMing Marine Transport Corp.
<b>WTC</b>	Water Transport Cell



# 第1章 バングラデシュ概要

## 第1.01節 地理および人口

正式国名はバングラデシュ人民共和国（People's Republic of Bangladesh）。1947年8月14日、パキスタンの一部（東パキスタン）として独立し、1971年12月16日にバングラデシュとして独立した。

国土は南アジア北東部のガンジス流域河口部デルタ地域に位置し、パドマ川、メグナ川、ジャムナ川という3つの大河を有する。面積は約14万4千km<sup>2</sup>（日本の約4割）に対し、人口は1.64億人で、世界で最も人口密度の高い国の一つ。総人口のほぼ3分の2が34歳未満、人口増加率は1.37%であり、今後も安価で豊富な労働力を有すると期待されるが、一方で、安価な労働力は人口の約26%が貧困層に属するという現状も示している。国民の識字率は約57%であるが、全国の80の公私立大学において130万人が大学教育を受けている。

国語はベンガル語だが、多数の人によって英語が話されている。宗教はイスラム教が約90%を占め、残りはヒन्दゥー教が9%など。

日本との関係においては、1972年のバングラデシュ独立承認以降、経済協力を中心に友好関係が続いている。極めて親日的な国民性を有する。バングラデシュ在住の日本人は約850名。<sup>1</sup>

通貨はタカ。1USD=79.10タカ（2012年度平均、バングラデシュ中央銀行）



バングラデシュの国旗

---

<sup>1</sup> 外務省ウェブサイト バングラデシュ基礎情報



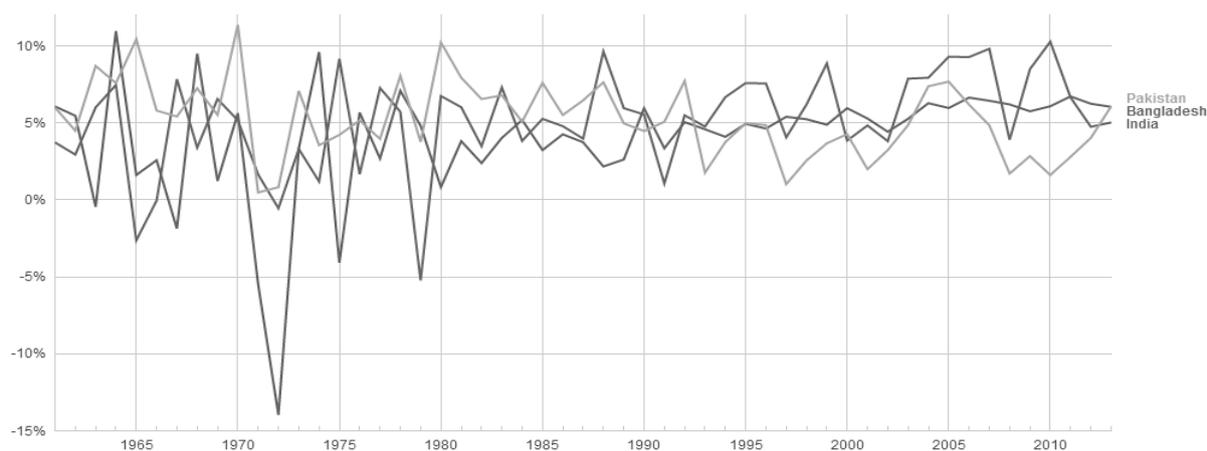
## 第 1.02 節 経済概況

### (a) GDP 推移

汚職、インフラの欠如、2013 年の政治的不安定、世界的な金融危機などを含む外部マイナス要因はあるものの、主要製品である縫製品輸出の好調、海外出稼労働者からの送金による民間消費の増大、堅調な農業生産等に支えられ、バングラデシュの経済は年間約 6% の割合で着実に成長。BRICs に続く新興経済国群「NEXT11」の一つに位置付けられている。2013 年の名目 GDP は 1738 億 USD（バングラデシュ統計局）で世界 189 ヶ国中 59 位 (IMF)。国民一人当たり GDP は 904USD である。米国 CIA (Central Intelligence Agency) ファクトブックによれば購買力平価換算 GDP は 3245 億 USD となり 239 ヶ国中 44 位となる。

GDP 成長率は過去 10 年以上に亘り 5~6% を維持し（特にインド、パキスタンと比較して）安定しているが、5 年ごとの総選挙の前後では野党勢力による激しい反政府活動（ハルタルと呼ばれるスト行動）により経済活動が低下する傾向がある。近年では 2006 年から 2008 年にかけて政治的対立が続き、この間、成長率が鈍化している。

図 1：GDP 成長率：インド・パキスタンとの比較

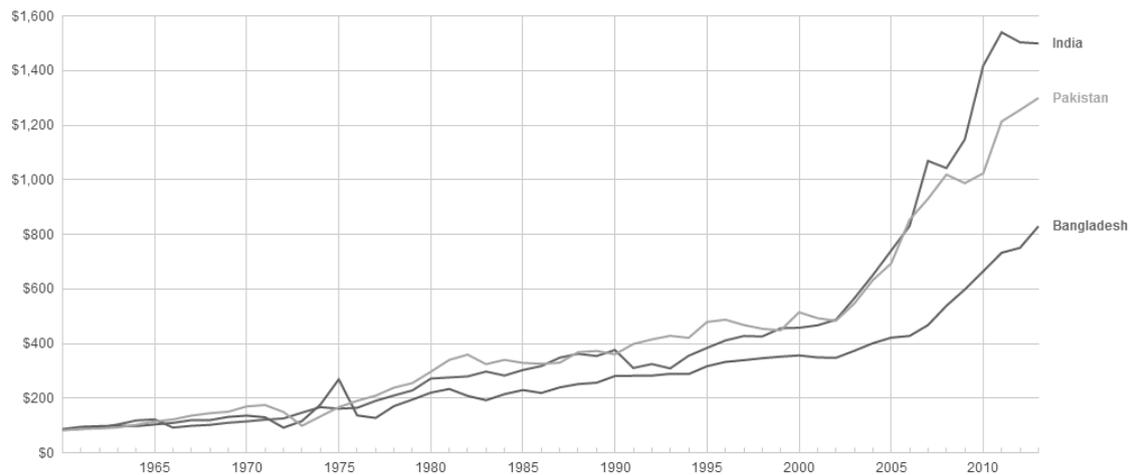


出所：世界銀行

2012 年から 2013 年にかけての政治情勢は、2013 年 1 月 5 日に開催された第 10 回議会選挙に先立ち、非常に不安定であった。すべてのビジネスや日常生活に影響を与える注目すべき要因は、バングラシユの 2 つの主要政党（アワミ連盟及びバングラデシュ民族主義党 (BNP)）間の政治的衝突を背景に定期的に行われたハルタル（ゼネスト）である。これらの活動において多くの暴力行為や市内交通の阻害が発生し、日常的な業務の停止、流通の停滞、納期の遅れ、事業運営コストの上昇等をもたらし、結果的に全体の輸出入にも影響を与え、2012 年以降の成長率は下落した。選挙後は、政治活動は非常に控えめとなり、状況は正常化されつつある。

1 人当たり GDP はインドとパキスタンに比べると成長率は低いですが、2006 年から 2007 年にかけて大きく成長を遂げている。

図 2 : 1 人当たりの GDP 推移 : インド・パキスタンとの比較



出所：世界銀行

### (b) GDP 構成

2013 年のバングラデシュの実質 GDP は 1156 億 USD (バングラデシュ中央銀行)。構成比はサービス業 49.5%、工業・建設業 31.3%、農林水産業 19.3%となっており、GDP の半分以上がサービス産業から成るが、農業は生産品の中でも主要な位置を保持しており、人口のかなりの部分がこのセクターに従事している。

主要鉱工業製品：衣料品、紙、肥料、鉄、鉄鋼、セメント、石油製品、医薬品、セラミックス、石鹼、洗剤、金属製品、電気、天然ガス

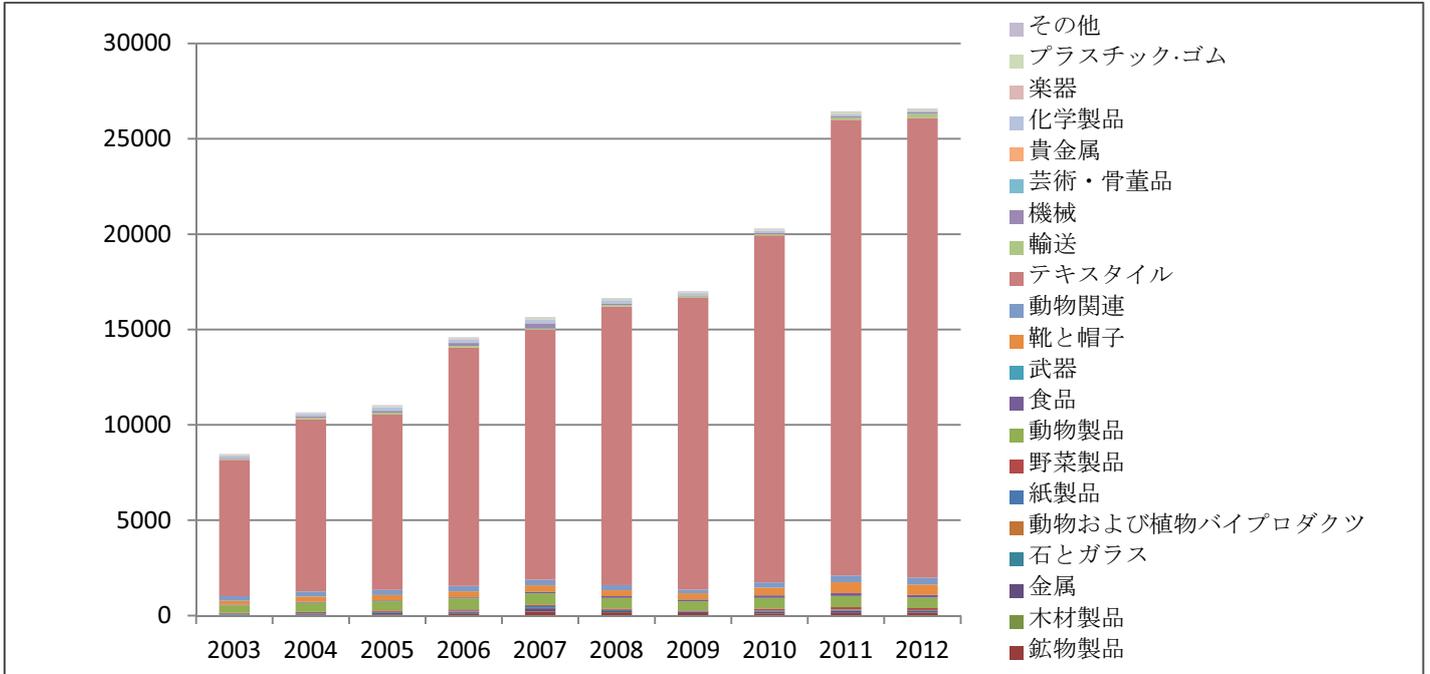
主要農産品：米、ジュート、綿、茶、小麦、サトウキビ、ジャガイモ、タバコ、豆類、油糧種子、スパイス、フルーツ、牛肉、牛乳、家禽。

GDP 成長率の主たる推進役は 210 億ドル超/年を生み出す衣料品輸出であり、GDP の 18%に相当。

(c) 輸出入

2013 年の輸出の総額は 269.1 億ドル (CIA, World Fact Book)。輸出の 90%が繊維製品 (既製服、ニット等) である。その他の主要輸出品は、冷凍食品 (魚介類)、ジュートおよびジュート製品、皮革。

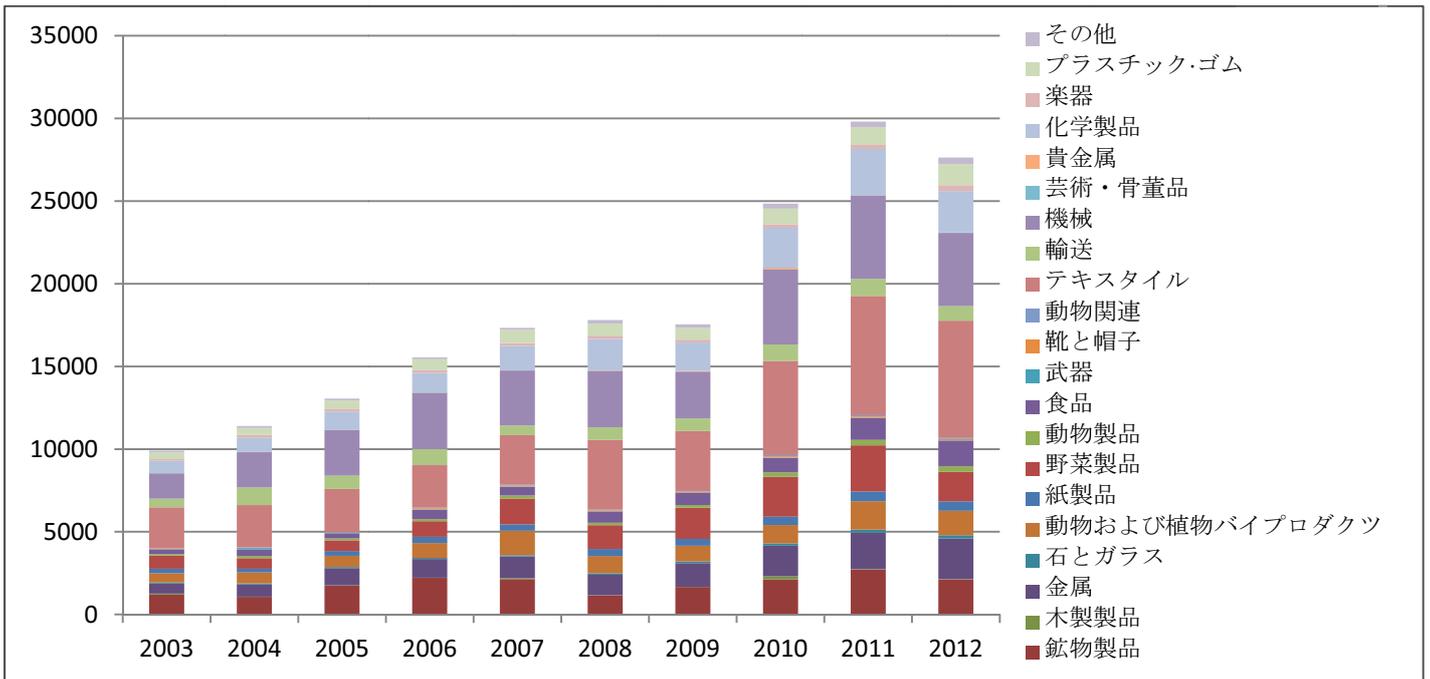
図 3 : 輸出品内訳 (mil USD)



出所: The Observatory of Economic Complexity

2013 年の輸入額は 329.4 億ドルで、輸出縫製産業の原料となるテキスタイルのほか、産業機械、鉱物 (石油等) が主な輸入品目。恒常的な貿易赤字であるが、14 億ドルに達する海外出稼労働者からの送金 (2012-13, バングラデシュ中央銀行) と、海外からの直接投資 (約 16 億ドル、2013, UNCTAD) が収支を支えている。

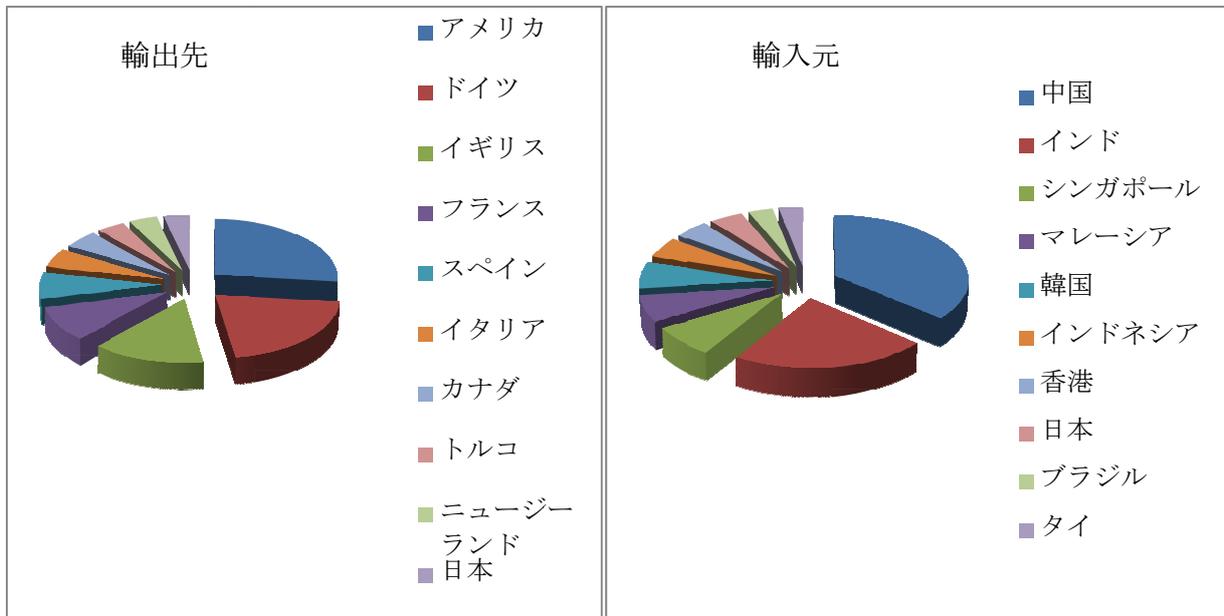
図 4 : 輸入品内訳 (mil USD)



出所: The Observatory of Economic Complexity

下のグラフは主要貿易国である。輸出先はアメリカを筆頭に欧米向けが 9 割に達する。輸入元は中国、インドで 6 割を占める。

図 5 : 主要輸出先及び輸入元 (2013)



出所: 世界銀行

## 第 II. 章 バングラデシュの海運・水運

### 第 2.01 節 バングラデシュの物流

バングラデシュの国土は 144,000 平方 km であり、領海は国土の約 7%に相当する 9,000 平方キロである。主要港は輸出入貨物を扱うチッタゴン港とモングラ港であり、特に、チッタゴン港はバングラデシュの輸出入の 90%以上を占め、その額は GDP の 30%に相当する。

ガンジスデルタに位置する地形のため、ヒマラヤ山脈等を源流とする大小 700 の河川からなる約 24,000 キロに達する内陸水路を有するが、これら河川及び沿岸域は、上流からの大量の土砂の流入・堆積により水深が浅くなっており、継続的な浚渫を必要としている。一方で、これらの河川は陸上交通網整備の障害ともなっており、主要都市間を結ぶ幹線道路のキャパシティは大きく制限されている。

基本的には陸路（自動車）が最も活用されている輸送モードであり、距離だけを見れば首都ダッカと国内各地との間は 48～72 時間内での配送が可能である。主たる物流ルートであるダッカーチッタゴン間は 242km あり、夜間の道路が空いている状況であれば 5～6 時間で通過することができるが（最大 23 トン積みまでのトレーラーによる輸送）、実際には二日程度を要する。

鉄道については、約 2,855km の線路と 261 の旅客用列車及び 55 の貨物用列車が 44 の地域を結んでいるが、鉄道網としては開発途上である。

水上輸送については、現在約 10,000 隻の国内輸送船舶があり、総石油製品の約 90%、総貨物の 70%、総乗客の 35%を輸送している。

上記のような物流インフラ整備の遅れに加え、物流プロセス・産業も発展途上であるところ、物流システムとして多くの課題を抱えている。次の表は世界銀行が行った物流能力の評価（2010）であるが、総じてインドよりも低い評価となっている<sup>2</sup>。

物流能力指標	バングラデシュ	インド	日本	シンガポール
通関プロセスの効率	2.33	2.70	3.79	4.02
貿易・輸送関連インフラ	2.49	2.91	4.19	4.22
価格競争性の輸送の手配のし易さ	2.99	3.13	3.55	3.86
物流サービスの質と適性	2.44	3.16	4.00	4.12
配送品の追跡と探知可能性	2.64	3.14	4.13	4.15
納期の厳守性（配送予定/予想期間内に荷受人に届く頻度）	3.46	3.61	4.26	4.23
全体的な物流パフォーマンス指数	2.74	3.12	3.97	4.09

2(Author Unknown).(2010). Bangladesh - Logistics performance index.Indexmundi. Available: <http://www.indexmundi.com/facts/bangladesh/logistics-performance-index>.最終アクセス日 2014 年 8 月 25 日

## 第 2.02 節 国際海運

### (a) 主要航路、主要港

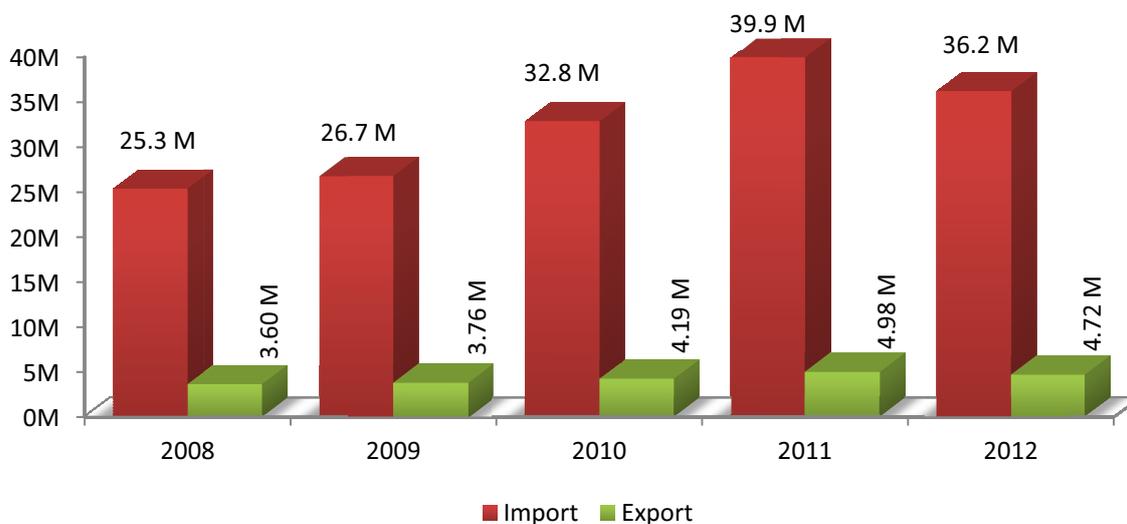
2.01 節に述べたとおり、バングラデシュの国際港はチッタゴン港及びモングラ港の 2 港のみであり、ここから欧州、米国、イントラアジア（シンガポール、コロンボ、カルカッタ等）、豪州などへの航路がある。

次のグラフ（図 6）はチッタゴン港湾局における輸出入量である。貨物輸入量は増加傾向が続いており、輸出量は輸入に比して少量ではあるものの、安定的に漸増している（2013 年は政治的混乱の影響による経済減退により若干減少。）。2011-12 年の取扱貨物量は、コンテナ取扱量 143 万 TEU を含め 4000 万 MT を超え、バングラデシュの海上輸送貨物の 92% を占めた。

コンテナ貨物の伸びは、GDP 成長率の倍に相当する毎年 14% の成長を見せている。図 7 はモングラ港湾局における輸出入量であり、数量はチッタゴンの 1/10 程度にとどまる。

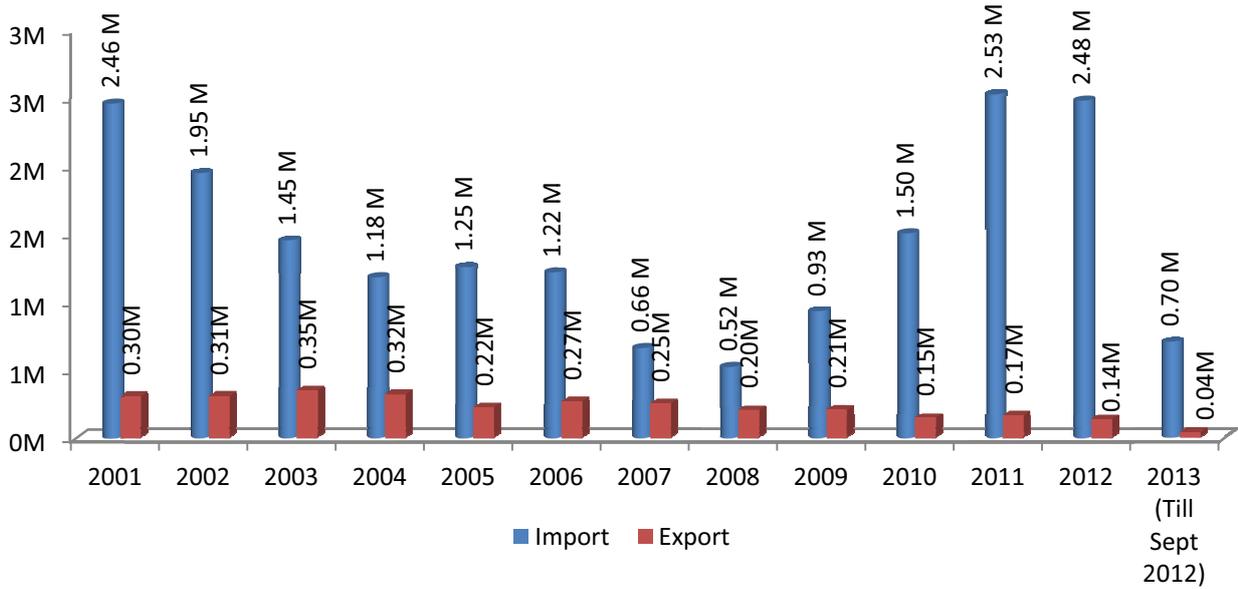
チッタゴン港湾局の年間取引量の詳細は付録 3、モングラ港湾局の年間取引量の詳細は付録 6 を参照。

図 6：チッタゴン港輸出入量（MT）



出所：チッタゴン港湾局

図 7 : モングラ港輸出入量 (MT)

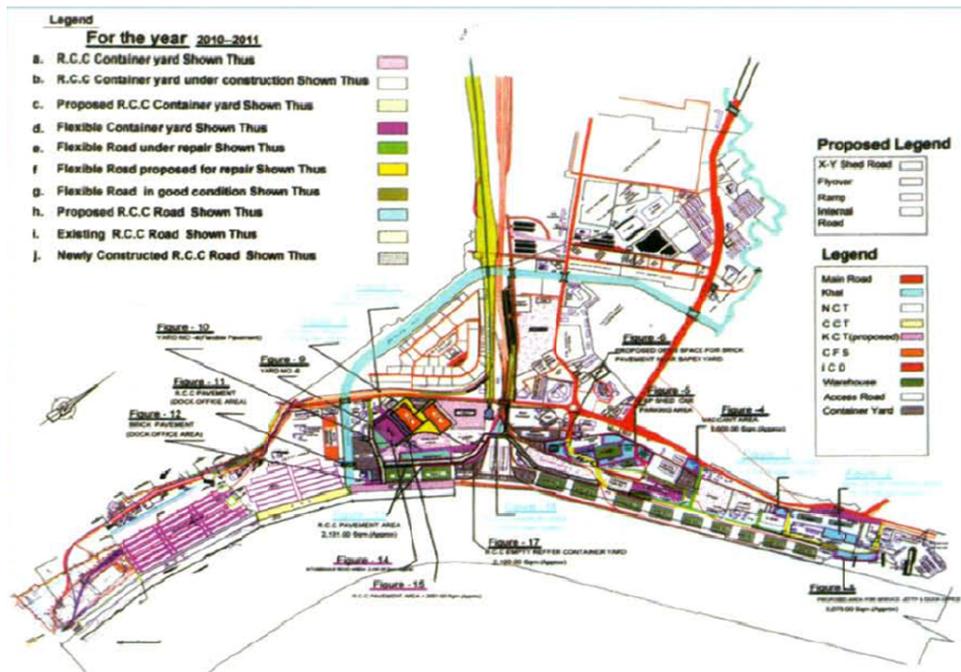


出所：モングラ港湾局

① チッタゴン港の概要 (出所：チッタゴン港湾局ウェブサイト)

チッタゴンは、首都ダッカの南東約 270km、カルナプズリ川に面したバングラデシュ第二の都市で、バングラデシュの国際海上物流の玄関口である。チッタゴン港は河口から 10km 程度遡った北岸に位置し、着棧可能な最大喫水は 8.55m でバース数は 12。港湾区域への入港に係る最大船長 (LOA) は 186m、最大喫水は 9.15m。

図 8 : チッタゴン港



主な輸入品目：食用穀物、セメント・クリンカー、砂糖、肥料、一般貨物、鉄材料、綿、化学製品、石炭、食用油等

主な輸出品目：既製服、ニットウェア、肥料、ジュート及びジュート製品、医薬品、ナフサ、糖蜜、冷凍食品等

近年、チッタゴン港湾局ではアジア開発銀行の支援を受け、港湾管理業務の IT 化を進めており、金融書類、支払書類、請求書（船舶請求書、コンテナ請求書、貨物請求書）などのような様々な口座が全てコンピュータ化された。その他の最新のシステムは、ゲート・パス・システム、個人管理情報システム、安全衛生管理システム、施設管理システム、そして港取引自動化システムなどである。2011 年にはコンテナ・ターミナル管理システムも開始した。以前は用紙に記入された書類を手作業で処理していたためこれに掛かる消費時間は莫大なものであったが、現在はコンピュータシステムを使うようになったためターミナルでの手続きがスムーズになり処理量も増えた。また、チッタゴン港湾局はダッカ内陸コンテナデポもコンピュータ化し、ホームページ上に関連情報を豊富に掲載しており、ユーザーの需要に見合うように定期的に更新している。

## ② モングラ港の概要（出所：モングラ港港湾局及び Unique Martime Limited 社ウェブサイト）

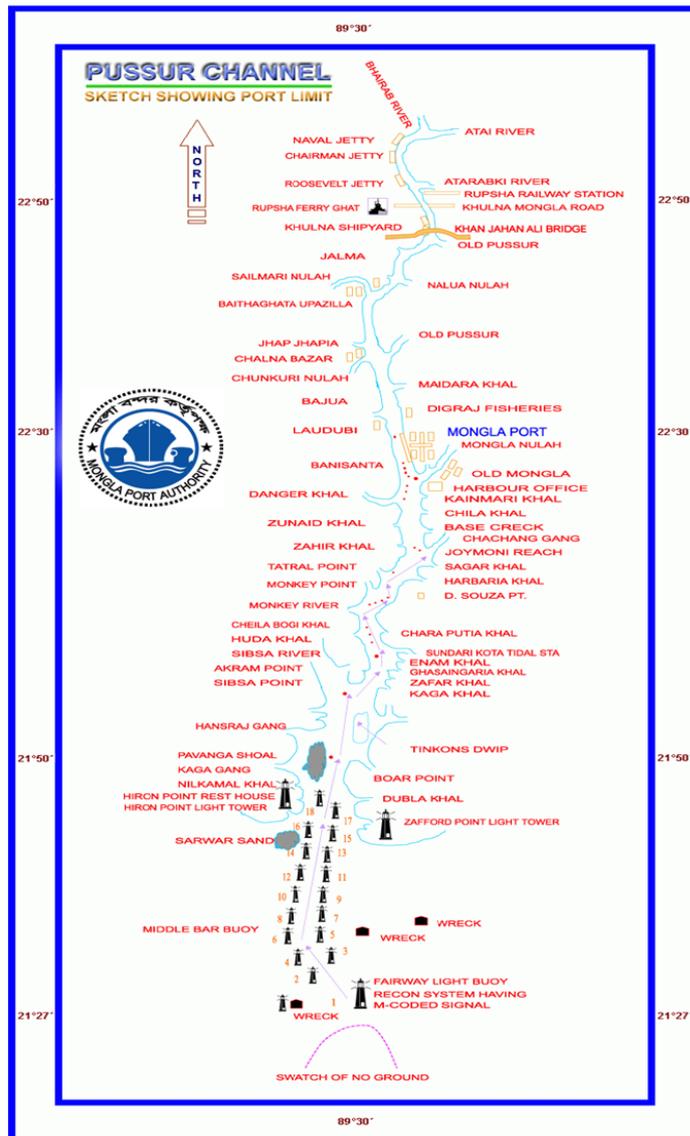
モングラ港は、ダッカの南西約 200km（直線距離。陸路の場合、渡河のための迂回により約 300km）、Passur 川の河口から約 100km 上流に位置するもうひとつの国際港である。入港可能船舶の最大喫水は 9.0m であるが、着岸可能喫水は 5.5m、Harbaria 停泊地での荷降の場合には喫水 8.0m まで可能である。係留可能な最大船長は 180m。

貨物取扱量は、チッタゴン港湾局に比べるとわずかであるが（約 160 万トン）であるが、GDP には一定の貢献をしている。

主な輸入品目：食料穀物、バラセメント、クリンカー、肥料、機械、自動車、一般貨物等

主な輸出品目：ジュート、ジュート製品、海老、冷凍食品等

図 9 : モングラ港



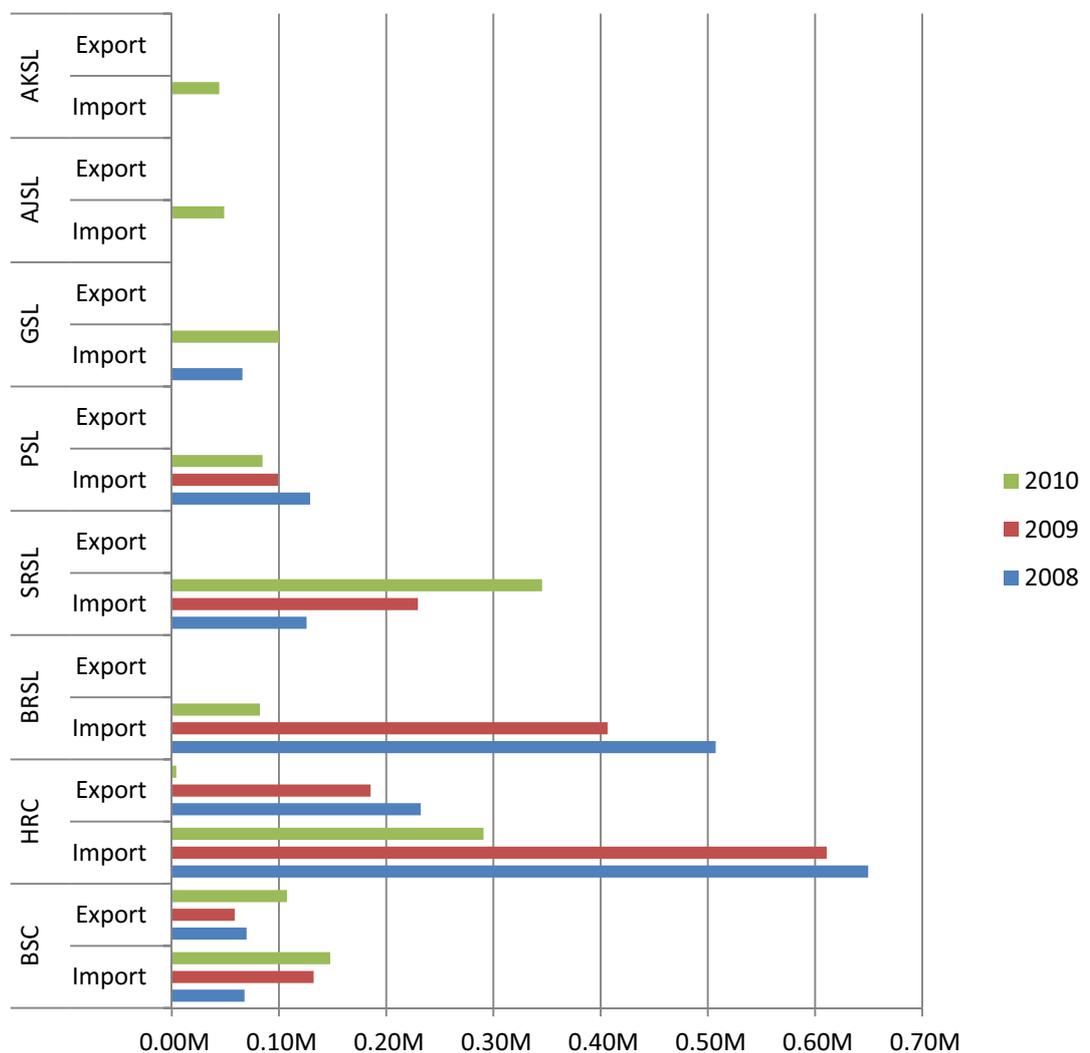
モングラ港湾局もここ 2~3 年の間、港湾能力の拡充のため、浚渫船や水先船の増加、航行援助施設の整備、運河航路及び港湾内の浚渫、Pangaon 内陸コンテナ・ターミナルの整備（貯蔵容量 3,500TEU、年間取扱量 116,000 TEU）といったプロジェクトを進めている。

(b) 国際海運に従事する海運会社及び船舶

① 海運企業

外航船を運航するバングラデシュの海運企業は 10 社あり、そのうちの Bangladesh Shipping Corporation (BSC、バングラデシュ海運公社) は唯一の政府企業である。輸出入実績では、S R Shipping(SRSL)、Bashundhara Shipping(BRSL)、HRC Shipping(HRC)が突出しているが、2010 年は、BRSL 及び HRC がともに大きく減少し、SRSL が急増した。BSC は、船舶の保有数が多いものの、業績は低迷している。Akij Group、East Coat Group of Industries、Deshbondhu Group は、近年、グループ内に海運事業部門を設け、船隊を所有している。

図 10：企業別輸出入量推移 (MT)



出所：バングラデシュ税関

表 1：主要国際海運企業（各社ウェブサイト、ヒアリング等より作成）

親会社名 (企業名)	Bashundhara Shipping (Symphony Ship Management)	Deshbandhu Shipping Ltd. (GM Shipping)	HRC Shipping	Bangladesh Shipping Corporation	Vanguard Maritime Ltd.	Meghna Group (Janata Flour & Dal Mills Ltd.)	East Coast Group (M/L Bangladesh Ltd.)	Crown Cement (M/L Cement Factory Ltd.)	Kabir Group of Industries (S.R. Shipping)	Akij Group (Akij Shipping Ltd)
住所・連絡先	House 61, Road 1, Block A, Bashundhara Residential Area, Dhaka Cell: +8801712693284 Tel: +88028401774	Mostofa Center, House 59, Road 27, Block K, Banani, Dhaka Tel: +8802881673 1	Suite No: 702 HRC BHABAN, 46, Kawran Bazar Com. Area, Dhaka - 1215. Tel: +88029133418	Salgola Road, P.O. Box No. 641 Chittagong-4100 Tel: +880312521162-8	Arif Chamber, 98 Agrabad Commercial Area, Chittagong, Bangladesh Tel: +880 31 2510457	Fresh Villa, House # 15, Road # 34 Gulshan-1, Dhaka-1212, Bangladesh. Phone: +880- 2-9887545, 9889490, 9884791	East Coast Centre, SW(G) 8, Gulshan Avenue, Gulshan-1, Dhaka-1212, Bangladesh. Phone: +88- 02-9884312- 7	House# 1 & 7, Road # 95, Block # CEN(A), Gulshan North Avenue Bangladesh. Phone: +880-31- 715222, 880- 31-711223, 711503-4	Kabir Manzil, Agrabad C/A, Dhaka 1000. Bangladesh	Akij Chamber, 73 Dilkusha C/A, Dhaka 1000. Bangladesh
設立年	2007年	2010年	1990年	1972年	2005年	2000年	2010年	1994年	2004年	2009年
会長・社長の氏名	Mohsin Ahmed	Md. Golam Rahman	Mr. Sayeed hossain Chowdhury	Mr. Shahjahan Khan (Vinsiter of Shipping) バンングラデシュ 政府	Shajjad Hossain Chowdhury	Mostofa Kamal	Tanjil Chowdhury	Md. Khabiruddin Molla	Md. Shahjahan Uddin	SK Aziz Uddin
主な株主	無し (Bashundhara Group 所有)	バンングラデ シュ政府- 50%	無し (HRC Group 所有)	無し (BSA Group 所有)	無し (Meghna Group 所有)	無し (East Coast Group 所有)	無し (Crown Cemen 所有)	無し (Kabir Group of Industries 所 有)	無し (Akij Group 所有)	無し (Akij Group 所有)
主な種荷	主に彼らの貨物を 輸送 (セメント、 原材料、小麦粉)	砂糖、塩、 クリンカ 一、米、測 程器、肥料 等	コンテナ (一般貨物)	バルク貨物、フ イーダ、原油、 食糧穀物	クリンカー	クリンカ 一、砂糖、 大豆	原油、石油 炉	クリンカ 一、鉄鉱石	セメント、 クリンカ 一、スラッ グ、小麦 粉、米	
主な航海ルート	モンングラ、インド ネシア、マレーシ ア、中国、韓国	中東、中 国、極東、 南アメリカ、 アフリカ	シンガポール、コ マレーシア、コ ロンボ、カラチ	パキスタン、西 アジア、イギリ ス、アフリカ、 極東、日本 (BSC との面談)	シンガポー ル、中国、 日本、 ロシア	ベトナム、 タイ、ナイ ジェリア、 韓国、 インド	ペルシヤ 湾、アラブ 首長国連 邦、 パキスタ	中国、ベト ナム、中東	世界各国： 特に日本、中 インド、中 国、マレー シア、イン	オーストラ リアとアメ リカを除く 世界各国

船舶リスト	Bashundhara 1-8	M.V. Golam-e-Mostofa; M.V. Deshbandhu 1	7隻のコンテナフィーダー船を所有	現在9隻の船舶を所有。(2隻は解体され、現在1隻のみ運航している)	により最近は主にチッタゴン港とモングラ港のみの運航を行っていることが分かった)	M.V. Bright Royal; M.V. Grand Royal; M.V. Mighty Royal	Meghna Princess	MT Omera Queen	Crown Voyager	現在13隻の船舶を所有し運航している	ドネシア等	
財務情報 (収益、利益、財務状況)	財務状況は赤字である。	情報無し	情報無し	2009 : -1.026MBDT (百万タカ) 2010 : -1.334MBDT 2011 : -0.183MBDT 2012 : -146MBDT 2013 : -0.163MBDT		情報無し	情報無し	情報無し	情報無し	情報無し	情報無し	情報無し
特記するイベント	2隻の新しい船舶購入 船舶名 : (Bashundhara 7, Bashundhara 8)	特に無し	Cosco, CMA-CCM と合弁事業を開始。 (HRC が 51% 所有)	政府は6隻のフィーダー船舶を Bangladesh Shipping Corporation のために購入予定 <sup>3</sup>		特に無し	特に無し	特に無し	特に無し	特に無し	特に無し	特に無し

<sup>3</sup> (Author Unknown). (July 17, 2014). Government to procure six feeder vessels for Bangladesh Shipping Corporation - See more at: <http://www.dhakatribune.com/bangladesh/2014/jul/17/government-procure-six-feeder-vessels-bangladesh-shipping>. Last accessed on 29 Oct 2014

## ②船舶

貿易輸送法（1983年）と内陸輸送条例（1976年）に基づき船舶局に商船として登録された船舶の隻数合計は11630隻で、このうち、ボート（漁業用、貨物用）が約11000隻と全体の95%を占める。外洋航行船は67隻。

表2：登録済み船舶（商船）

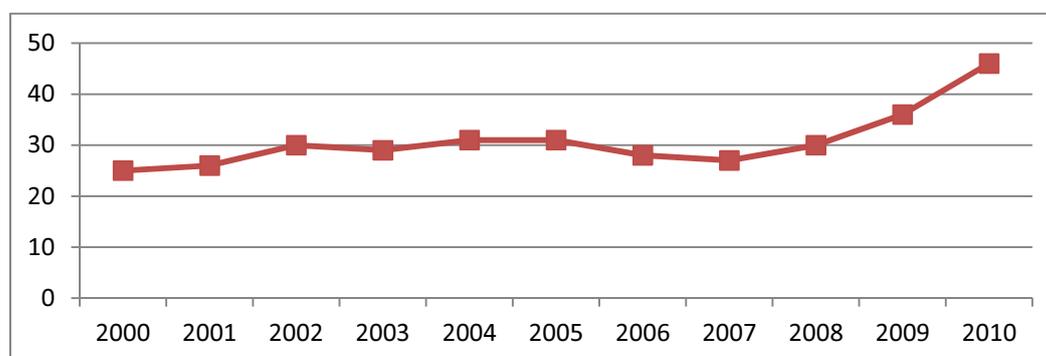
船舶のタイプ	船舶総数					
	2008年 12月時点	2009年 12月時点	2010年 12月時点	2011年 12月時点	2012年 12月時点	2013年 12月時点
外洋航行船	27	34	46	67	67	67
沿岸貨物船	82	83	84	85	87	100
タンカー	95	95	104	112	118	143
旅客船	15	15	21	22	23	23
艇	6	6	7			
タグ	7	7	8			
検査用船舶	1	1	1			
艇 (ISO規格適合)	6	6	15	15	15	15
浚渫/水艇	1	1	5	5	7	7
トロール漁船	153	177	194	180	201	217
漁業ボート	6,591	6,751	6,959	7,730	7,923	8,313
貨物ボート	2,512	2,547	2,577	2,615	2,666	2,728
その他				16	16	17
船舶合計	9,496	9,723	10,021	10,847	11,123	11,630

出所: DOS

チッタゴン船舶局に登録された船舶の詳細は付録-8参照。

バングラデシュの企業（BSCを含む。）が保有する外航船の隻数は2007年以降増加している。

図11：バングラデシュ企業保有外航船隻数推移



出所: DOS

③ 海運企業における当面の課題（運営、管理、財政面）

当面の経営上の課題について外航会社からヒアリングを行ったところ、以下のような経営、管理そして財政上の課題が指摘された。海運業界としては、政府に対し IT 化の推進や河川浚渫による物流改善の促進、現在 8.5m 程の深さしかない港湾の水深や書類手続きの簡素化等各種ボトルネックの排除、道路や電気といったインフラ設備の改善等、現在バングラデシュの主要輸出品である縫製産業への支援のように、海事産業に対しても支援をすることが必要だと考えている。

- a. **人件費に対応する変化** – MAERSK Bangladesh Ltd によれば、国際的なライナー企業として、組織及び業務の最適化、標準化及び予約業務、インボイスプロセス、ベンダー支払い等の業務の外部委託、また、それら外部委託はインドのグローバルサービスセンターに集約することで、合理化を図っている。Orient Overseas Container Line は 2009 年の景気下落以降スタッフを 5% 減少させ、Compagnie Maritime d’Affrètement はトップ経営陣を交代させたと回答した。
- b. **競合会社の変化/出現** – イタリアの海運会社 MSC が事務所を最近ダッカに置くなど外資企業の進出が進んでいる。また MAERSK Bangladesh Ltd. は市場シェア 25% を獲得したことによって、その他の競合他社の市場シェアは一桁台となったと回答した。
- c. **法規の変化** – 近年バングラデシュ税関は、貨物取扱業者に対し、ライセンス取得を義務付けた。チッタゴン港湾局は貨物を配送するための様々な手続きを減少させるためにワンストップ・サービスを開始し、輸入業者による配送のため（港の外の）オフドックに送られるべき 29 種の貨物アイテムのリストを作った。また他にも注目すべき変化として、新たな外国海運会社代理店は、その 49% の株を保有する地元（バングラデシュ）のパートナーを持つこととされた。
- d. **運営活動の変化** – チッタゴン港湾局によるコンテナ・ターミナル管理システムと税関による関税データオートシステムワールドの実施は外航海運の経営にとって大きな前向きな影響を与えた。このシステムにより貨物申告手続きが標準化された。バングラデシュ税関はオンラインサービスを使い通関申告/輸出申告の手続きも改善された。これにより港の運営全体が効果的に改善された。

## 第 2.03 節 内陸水運

世界銀行が 2007 年に行った「内陸水路の復活：その選択と戦略 (Revival of Inland Water Transport: Options and Strategies) <sup>4</sup>」という調査によると、バングラデシュ内陸水運の料金は道路や鉄道よりかなり安価であることが明らかにされた。道路を使用した場合の運送経費は 1km に付き 4.5 タカであるが、内陸輸送を使用すれば 0.98 タカである。

バングラデシュと蘭の協力プロジェクトとして NIENRODE BUSINESS UNIVERSITY が行った調査「Exploring the Logistics Sector in Bangladesh」(2014)<sup>5</sup>によると、内陸水運の年間合計乗客数は 8,780 万人でバングラデシュ国内旅客全体の 14%、年間貨物量合計は 58 万トンで、同貨物量全体の 35%を占めている。内陸水運で行われる取引量はバングラデシュの輸出入の 40%を占めており、チッタゴン港とモングラ港は内陸水運へ積荷を渡すフィーダー・ポートとしての役目を果たしている。

内陸水運は主に燃料ならびにレンガ、モルタル、石炭及び穀物のような高密度貨物を輸送しており、使用船舶は貨物船、タンカー、タグボート、バージである。

### (a) 河川及び航路

表 3: バングラデシュ水路情報

河川（内陸水路）の長さ	24,000 km.
運航可能な水路の長さ	
雨季	5968 km.
乾季	3865 km.
最小水深（利用可能喫水深さ）	1.50～3.90m
年間流量（バングラデシュ水資源開発局）	1 兆 4000 億 m <sup>3</sup>
年間土砂堆積量（同上）	25 億トン
年間輸送乗客数	8780 万人
年間輸送貨物量	58 トン

バングラデシュの水路はその最小水深により以下の 4 つのカテゴリーに分類される。

表 4：内陸水路情報

ルート名	最小水深	ルートの長さ及び構成比	最低垂直クリアランス	最低水平クリアランス
クラス-I	3.66m	683 km (11.39%)	18.30m	76.22m
クラス-II	2.13m	1,027km(17.13%)	12.20m	76.22m
クラス-III	1.52m	1,885km(31.44%)	7.62m	30.48m
クラス-IV	1.52m 未満	2,400km(40.04%)	5.00m	20.00m
合計		5,995km(100%)		

出所: 表 3 及び 4 とともに BIWTA

<sup>4</sup> <http://webcache.googleusercontent.com/search?q=cache:5DGLXPQJI3IJ:siteresources.worldbank.org/INTBANGLADESH/Resources/BDS20.pdf+&cd=1&hl=bn&ct=clnk&gl=bd&client=firefox-a>

<sup>5</sup> [http://www.nbbp.org/\\_downloads/Nyenrode\\_Report\\_Exploring\\_the\\_Logistics\\_sector\\_in\\_Bangladesh.pdf](http://www.nbbp.org/_downloads/Nyenrode_Report_Exploring_the_Logistics_sector_in_Bangladesh.pdf)

(b) 内陸水運に従事する船舶

内陸水運に従事する船舶として登録されているものは、2010年時点で12275隻で、2008年以降増加傾向である。最も多いのは土運船の3506隻で、続いて貨物船、旅客船、バージの順となっている。

1976年に定められた内陸船舶条例（INLAND SHIPPING ORDINANCE）の下、船舶局に登録された船舶数	12,275（2010年12月）
【参考】1976年に定められた内陸船舶条例（INLAND SHIPPING ORDINANCE）、1983年に定められた商船条例（MERCHANT SHIPPING ORDINANCE）の下、商船局に登録された船舶数（内訳は、第II章参照）	11,630（2013年12月）

表 5: 登録済み船舶(内陸水運)

船舶のタイプ	船舶の総数		
	2008年12月現在	2009年12月現在	2010年12月現在
客船	2,122	2,162	2,188
貨物船	2,041	2,088	2,217
フェリー	94	94	96
油送タンカー	150	160	175
タグ	271	273	283
バージ	1,666	1,674	1,683
漁船	70	70	70
スピードボート	664	674	684
視察ランチ	422	422	422
土運船	2,488	2,893	3,506
浚渫船		80	175
その他	699	718	776
船舶合計	10,687	11,308	12,275

出所: DOS

(c) 内陸水運公社による輸送状況

バングラデシュ内陸水運公社（BIWTC）は、バングラデシュ海運省の下部組織で、内陸水運の輸送を担っている。その保有船隊は表5のとおり。

表 5 : BIWTC 所有船隊

カテゴリー別 BIWTC の水上車両数	
ユニット名	数
フェリーサービス・ユニット	69
旅客サービス・ユニット	43
貨物サービス・ユニット	63
船舶修理サービス・ユニット	14
合計	189

出所: Ministry of Shipping<sup>6</sup>

① 貨物サービス・ユニット

貨物サービス・ユニットは、チッタゴンとモングラ港から国内の様々な内陸河川港へ主に食料、食用穀物、ジュート及びジュート製品、セメント、クリンカー、燃料や石油製品などの各種製品の運搬を担当している。また、インドとの 2 国間で結ばれたインター・カンントリー運搬と取引プロトコル協定のもと、インドのカルカッタとの貨物輸送を行っている。このような貨物は同ユニットの沿岸貨物船、タンカー及びバージによって輸送される。

表 6 : BITWC の貨物サービスルート情報

ルート名		
1	チッタゴン (Chittagong)	ダッカ (Dhaka)
2	チッタゴン (Chittagong)	ナラヤンゴンジ (Narayanganj)
3	チッタゴン (Chittagong)	モングラ (Mongla) / クルナ (Khuluna)
4	ダッカ (Dhaka)	モングラ (Mongla)
5	ナラヤンゴンジ (Narayanganj)	モングラ (Mongla)
6	ナラヤンゴンジ (Narayanganj)	アシュゴンジ (Ashuganj)
7	クルナ (Khuluna)	モングラ (Mongla)
8	ナラヤンゴンジ (Narayanganj)	カルカッタ (インド)
9	クルナ (Khuluna)	カルカッタ (インド)

出所: Ministry of Shipping

② フェリー・サービスユニット

バングラデシュ内陸水運公社は、国内の北部、南部地方、東部地方の間の道路の断絶を繋ぐため、下記のルートで日夜フェリーサービスを行っている。下記ルートに加え、近々新たに 4 ルートでのサービスを開始する計画である。

<sup>6</sup> <http://www.mos.gov.bd/index.php/4-5-achievement>. Last accessed 25 Aug 2014.

表 7 : BIWTC のフェリー・サービスルート情報

ルート名			
1	パトゥリア (Paturia)	カジールハト (Kazirhat)	パトゥリア (Paturia)
2	パトゥリア Paturia	ダウラトディア (Daulatdia)	パトゥリア (Paturia)
3	マワ (Mawa)	チャルジャナジャト (Charjanajat)	マワ (Mawa)
4	マワ (Mawa)	カタルバリ (Kathalbari)	マワ (Mawa)
5	チャンドプール (Chandpur)	シャリアトプール (Shariatpur)	チャンドプール (Chandpur)
6	ボラ (Vhola)	ラクシミプール (Laxmipur)	ボラ (Vola)
7	ラハルハト (Laharhat)	ベドゥリア (Veduria)	ラハルハト (Laharhat)

出所: Ministry of Shipping

③ 客船サービスユニット

客船サービスユニットは主に内陸水路、沿岸地域、島の人々に利用され、下記のルートで定期的に航行している。

a. 内陸乗客サービス

ルート: ダッカ — ボリシャル — モロルガンジ間のロケットサービス  
(Dhaka-Barishal-Morolganj)

b. 沿岸乗客サービスルート

表 8 : BIWTC の乗客サービス情報

ルート名	サービス名
チッタゴン～ボリシャル (Chittagong- Barisal)	汽船サービス
チッタゴン～ハティア (Chittagong-Hatia)	汽船サービス
コミッラ～グプトチョラ (Comilla-Guptochora)	冬季のみ運行
ハティア～チョールバタ (Hatia-Chorbata)	シー・トラックサービス※
チョールチャンガ～チョールバタ (Chorchanga-Chorbata)	シー・トラックサービス
モンプラ～シャシガンジ (Monpura-Shashiganj)	シー・トラックサービス
ボリシャル・モジュ～チョードリ (Barishal- MojuChowdhury)	シー・トラックサービス
テクナフ・セント～マーチン (Teknaf-Saint Martin)	観光、シー・トラックサービス
エリシャ・モジュ～チョードリ (Elisha-MojuChowdhury)	
アレキザンダー・ミルザカル (Aleksender- Mirzakalu)	

出所: Ministry of Shipping<sup>7</sup>

※ シートラック・サービスとは、近距離の小型フェリー輸送を指すと思われる。

<sup>7</sup> <http://www.mos.gov.bd/index.php/4-5-achievement>. Last accessed 25 Aug 2014.

(d) 内陸水運のメリットとリスク

蘭の研究機関 NETHERLANDS BANGLADESH BUSINESS PLATFORM が 2014 年に行ったバングラデシュの物流に関する調査「Nyenrode Business Universiteit (2014). Exploring the Logistics Sector in Bangladesh」では、バングラデシュ内陸水運局による内陸水路分類を踏まえ、陸上輸送との競争力比較を行っている。

表 9：バングラデシュ内陸水運局による航行可能内陸水路の分類

コリドー名	ルート名
コリドー1	ダッカ-チッタゴン (Dhaka-Chittagong)
コリドー2	ダッカ-モングラ-ハルディア (Dhaka-Mongla-Haldia)
コリドー3	ダッカ-バガハリ-パンドゥ (インド) (Dhaka-Baghabari-Pandu,India)
コリドー4	ダッカ-アシュガンジ-カリムガンジ (インド) (Dhaka-Ashuganj-Karimganj (India)

特に、首都であるダッカーチッタゴン（コリドー1）間のコンテナ輸送は重要なポイントであるが、このルートにおけるコンテナ輸送は、道路や鉄道輸送に比べてコストと時間の両面で優位性を有するとしている。

表 10：コリドー1の場合輸送方法のコスト比較

コリドー-1			
ダッカーチッタゴン (Dhaka-Chittagong)			
経路	輸送方法	必要時間	コンテナ費用 (タカ)
道路	トラック	2 日	20,000 タカ
鉄道	電車	7 日	15,000 タカ
水路	船	14-18 時間	9,000 タカ

コリドー2（ダッカからモングラ港まで）については、道路を利用するよりも水路交通を利用したほうが経費と時間の節約ができる。ルートとしては陸路よりも水路の方が短いものの、航行援助施設の欠如の問題が大きい。洪水のため川には土砂が堆積して航行を妨げる。コリドー3においても同様の短距離航路の利点と堆積土砂の問題が指摘される。コリドー4については、将来の輸送量増大の可能性が増しているインドとの輸出入の取扱いにおいて、コリドー1との接続性が期待される。

また、同調査は、内陸水運における全体的課題として①沿岸部の侵食と堆積土砂、浚渫能力の不足、水路の浅さと狭さ、航行援助施設の不足を挙げており、事業環境に係るもうひとつの基本的課題として②汚職の横行など官民連携事業（PPP）における不透明性、事業環境リスクを指摘している。

### 第 III. 章 造船及び船舶修繕業

#### 第 3.01 節 産業の概要

本調査においては、バングラデシュの造船産業に関するデータ入手が困難であったため、主要造船所から入手した個別データや新聞報道などに基づいて概略を述べる。

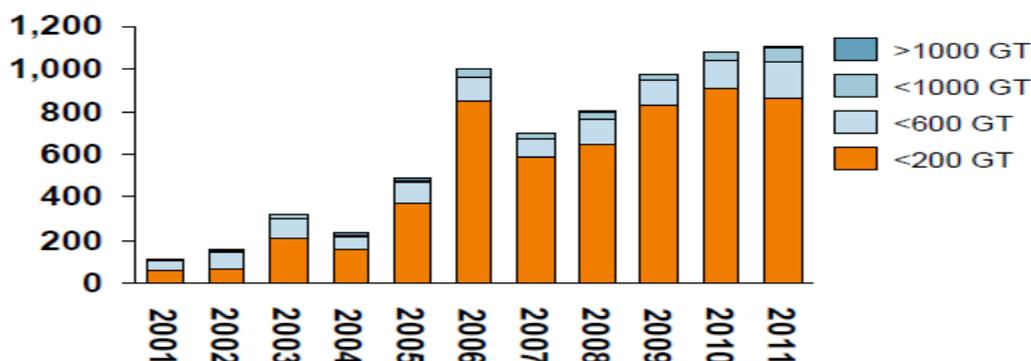
バングラデシュには 50 以上の造船所があり、その 70% 近くがダッカの周辺にあり 20% がチッタゴン、そして残りの 10% がクルナとポリシャルに存在している。この産業には 150,000 人の人々が働いており、その影響は約 200 万人に及ぶと推定されている。新造分野においては、国際基準に適合した 10,000DWT までの船舶の建造能力があり、デンマーク、ニュージーランド、ドイツなど「ハイエンド」の市場に輸出している近年は、バングラデシュの内陸沿岸船舶の多くが国内で造られ、修理されている。世界の新造船市場約 1 兆 6 千億ドルのうち、約 1% のシェアを有する。

バングラデシュ造船業のうち、Ananda Shipyard and Slipways Limited (ASSL) と Western Marine Shipyard Ltd. (WMS) の 2 社が主要企業であり、10,000DWT サイズの国際航海船の建造実績を有する。両社で約 6 億ドルに相当する船 41 隻の受注を有している。近年では、HighSpeed 社がバングラデシュオーナー向けに最大 10,000DWT の船舶建造実績をもち、公営の Khulna Shipyard も高品質の船舶の建造と新規受注拡大を図っており、業界内の競争は激しくなっている。

主要造船所の近年の主な建造船舶を付録 14 に示す（各社ヒアリングベース）。2009 年以降の引き渡し実績のほとんどは Western Marine 社である。主な輸出先が欧州であることから、リーマンショックの影響相当程度受けているものと推測される。

図 12 は、バングラデシュにおける内陸・沿岸船舶の建造隻数の推移である<sup>8</sup>。2001 年から 2011 年にかけて概ね堅調に増加している。建造船の約 8 割が 200GT 以下の小型船であるが、最近では 200GT 以上の船舶の建造実績も増えてきた。1000GT 以上の内陸航行船舶の建造は極めて少ない。

図 12 : バングラデシュにおける内陸・沿岸船舶の建造量（隻数）



出所：世界銀行

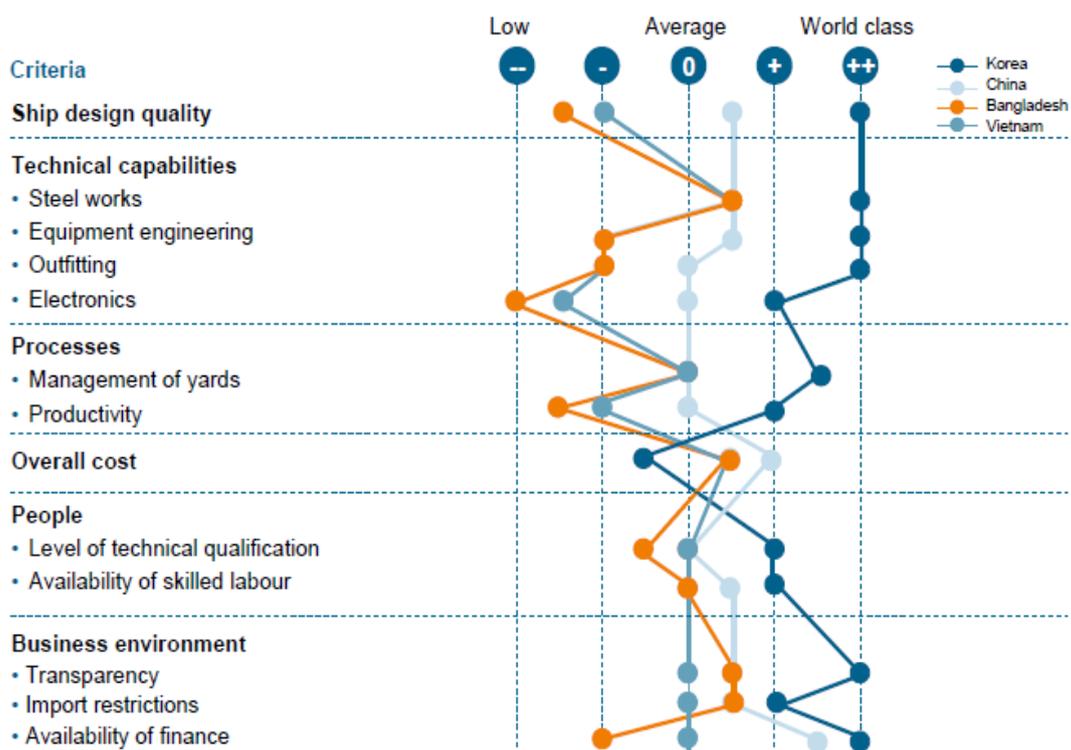
<sup>8</sup>World Bank. (2013). Bangladesh Diagnostic Trade Integration Study. *Sector Studies*. 3 (1), p 11.

造船用資機材の調達については、主に中国からの輸入に頼っている。エンジンのような特別の機器・部品はアメリカ、イギリス等様々な国々から輸入されている。内航向けエンジンには日本製の小型エンジンもかつてよく使われていたが、価格及びスペアパーツ調達の容易さから、中国製のシェアが拡大している。

### 第 3.02 節 バングラデシュ造船業の競争力と課題

図 13 は、バングラデシュと韓国、中国、ベトナムの造船業について比較したものである (Bangladesh Diagnostic Trade Integration Study, World Bank, 2013)。全体としてはベトナムと同等の傾向にあり、かつ、それをやや下回ると言える。平均的な水準からみれば、設計技術、機器・電装、生産性で大きく劣り、溶接技術（及びそれを担う技能工）は平均的レベルを持ち、全体コストは中国には及ばないものの優位性を持つ。事業環境については、透明性及び輸入規制でベトナムより評価が高いが、ファイナンスの不足がネックとなっている。

図 13：造船産業における中国、韓国、ベトナムとの質的比較<sup>9</sup>



出所: Bangladesh Diagnostic Trade Integration Study, World Bank, 2013

バングラデシュにおける今後の主要産業として造船業への期待は高いものの、下記のような課題が指摘されている。

- a. ベトナム、ブラジル、インドネシアそしてトルコなどの競合国も造船市場を活性化させようとしており、国際市場は一層厳しくなる。

<sup>9</sup>World Bank. (2013). Bangladesh Diagnostic Trade Integration Study. *Sector Studies*. 3 (1), p 11.

- b. 熟練工の国内の造船所から海外の造船所への流出。
- c. 80%以上の原材料を輸入しており、海外への依存が増加している。
- d. 船用機器などのような関連産業の欠如。またインフラ不足による配送時間及び費用の増加。
- e. 造船産業と関連産業との連結不足
- f. 経営ノウハウ（運営、財政、事業予測、意思決定、生産活動）の不足による造船所運営における多くの障害の発生。
- g. 十分機能しえる資本の不足、高金利、輸入 LC マージンの高さ起因する建造コストの競争力への圧迫。

### 第 3.03 節 各造船所の概要

付録 8 に、主要造船所リストを添付する。



#### (a) ANANDA SHIPYARDS AND SLIPWAYS LTD<sup>10</sup>

Ananda 造船（以下 ASSL）は、1983 年設立の Ananda Builders Limited（ABL）を前身として 1999 年に設立された。バングラデシュの造船所としては最も早い時期に設立され、Western Marine 社と並ぶ主要造船所である。前身の ABL 時代を含め、延べ 300 隻以上の船艇を建造。2005 年にデンマークから初の輸出船を受注し、2008 年に引き渡した（Stella Maris 号）。事業所面積 80,000 m<sup>2</sup>。2004 年にはバングラデシュで初めてコンピューター制御自動切断機を導入した。

従業員は 1362 名以上、経営及び技術陣 96 名を有する（同社ウェブサイト）としているが、現在は国内向け船舶のみの建造となっており、設計者は 3 名のみ、作業員の数も減らしている。かつてデンマーク向けを建造していた際は設計技師は 16 名いたとのこと。なお、ウェブサイト上、2010 年以降の財務情報は更新されていない。



<sup>10</sup> <http://www.anandashipyards.com/>

①施設

デザイン事務所	45m x 12m
ロフティング ホール	82m x 15m x 5m
材料加工プラント	220m x 15m x 12m
製作ホール	82m x 18m x 10m
第1号、第2号造船ホール	100m x 25m x 16m
第3号造船ホール3	140m x 37m x 12 m
第1号、第2号製作ヤード	185m x 40m
第1号、第2号引上ドッグ	215m x 17.5m
第3号引上ドッグ	55m x 196m
機械製作所	50m x 15m x 6m
鋳造場	50m x 12m x 6m

自動化設備	
ショット・ブラスト機 	CNC 機械 
パイプ・ベンダー 	開先加工機 

② 建造実績、受注実績

【建造船種】 タグボート、高速巡視艇、外洋航行船（アイスクラス）、貨物船、タンカー、浚渫船、特殊船、フェリー／旅客船

（2013年及び2014年の建造実績及び手持ち工事）（同社からのヒアリング結果）

船種	船主	隻数	備考
26m House Boat	BIWTA	18	18隻引渡済み
15m Work Boat	BIWTA	4	
27m Tug Boat	BIWTA	4	4隻引渡済み
40m-18" Dredger	BIWTA	4	
45m-20" Dredger	BIWTA	4	
36m-16" Dredger	BIWTA	4	Ellecott より図面購入
26" Dredger	BWDB	6	Ellecott より図面購入。4隻引渡済み
26m House Boat	BWDB	6	4隻引渡済み
15m Work Boat	BWDB	6	4隻引渡済み
6,100DWT Ice Class Cargo	German Owner	3	1隻キャンセル
5,500DWT Cargo	German Owner	2	1隻キャンセル

- ・ Ellecott から図面購入しているもの（機器も Ellecott 支給）以外は自社設計で自社調達。
- ・ BIWTA 及び BWDB 向け小型船の多くは CAT エンジン。
- ・ ドイツ船主向け貨物船は自社にて営業し受注したもの。基本設計は ABS（ドイツのデザイン会社とのこと）。機器はオーナー支給。船級は GL。6,100DWT1 隻は完成後にキャンセルされ、もう 1 隻はほぼ完成。5,500DWT も 1 隻は完成後にキャンセルされ、もう 1 隻はほぼ完成。リーマンショック後の船主の経営状況悪化により途中で分割代金の入金が可能となりキャンセルされたとの説明あり、加えて同社の納期遅延も理由であった様子。なお、これら独向け船舶の建造には 3 年を要した。

【これまでに建造した主な輸出船または外洋航行船】

船名 (船籍国)	船種及び写真	全長	積載量	GT	DWT	速力及び主機出力
Wes Grain (Antigua & Barbuda)	多目的貨物船 	104.135 m	270500 cu.ft	約 3850	5500	12kt 2735HP×1
Stella Maris (Antigua & Barbuda)	多目的コンテナ船 	81.35 m	3000 m <sup>3</sup>	1867 GT	2900	12kt N.A.
Machanga (Mozambique)	貨客ボート 	27.24 m	58 人 貨物: 10 トン			10kt 340BHP×2
CuaCua (Mozambique)	揚陸艇 	20.58 m	乗客 - 90 人 ピックアップ 2 台、 自動車			10kt 127BHP×2
Mpfumu (Mozambique)	フェリー 	48.86 m	乗客 - 250 人 乗用車 10 台 トラック 4 台			11kt 340BHP×2
Navalis (Ilse of Man)	多目的コンテナ船 	110.90 m	174 TEUs	約 4900	6100	12.05kt 4100HP×1
Massique (Mozambique)	アルミニウム製双胴 船水上タクシー 	12.50 m	乗客 96 人 貨物 - 02			13kt 115BHP×2
Fast patrol boat (BGB)	パトロール船 	31.20 m	乗客 - 96 人 貨物 - 02			25kt MTU,1500BHP×2
Oil Tanker (バングラデシュ海軍)	タンカー 	79.85 m		2774 DWT		1800HP×2

(b) WESTERN MARINE SHIPYARD LTD<sup>11</sup>



同社は、バングラデシュでも最も有名かつ実績のある造船会社であり、チッタゴンのカルナプリ川南岸に位置する。

① 事業概要

建造船舶は、長さ 100m までの内航及び外航の貨物船、タンカー、フェリー、作業船、トロール漁船など。欧州（独、蘭）造船所との提携により、デンマーク向け氷海仕様（アイスクラス）の貨物船やフェリーを建造している。年間の建造隻数は 12 隻程度。オフショア向け AHTV、クルーボート、PSV などにも建造可能。

② 事業所、従業員



遠景



組立工場



部品倉庫



艀装工事中船舶（デンマーク向け）

- ・ 近代的な工場を有しており、工場内も整理整頓が行き届いている。工場レイアウトは、蘭の造船事業者の技術コンサルを受けた。

<sup>11</sup> <http://www.wms.com.bd/>

- ・ブロック工法で建造。ブラスト、切断などは自動化・機械化が進んでいる。建造技術のレベルは高い。板曲げ加工はプレス機械式であり、熱によるぎょう鉄は見受けられない。
- ・造船所下流の橋げたの高さ制限により、Air ドラフトは約 15m。ただし、進水後、下流まで移動してから高い上部構造物の工事を行うのは可能。
- ・従業員は 3500 名。うちワーカーが 3000 名（※本工は約 800 名。そのほかは協力工。）、アドミニストレーションが 200 名、エンジニアが 300 名である。なお、CSR 活動にも最近力を入れており、従業員向けのメディカルセンターも整備した（※近隣の一般住民も利用可能、独の ODA で整備。）。
- ・設計は、欧州会社より購入。機器のパッケージもセットが多い（特に欧州船主向け案件）。取得船級は、BV、GL、NK。バングラデシュで当社と同レベルの技術を持つ造船会社はないと自負。
- ・外国資本は入っていない。
- ・2012 年現在、5 番目の船台を建設中。これができると長さ 120m 程度、12000～15000DWT まで建造可能となる。オランダの造船企業との提携により、LNG バンカリング船の建造にも取り組む。

### ③ 同社による内航マーケット見通し（2012 年時点）

- ・バングラデシュの内航船の造船マーケットは約 400mil US\$。当社としては、その 30% のシェアを目標としている。2011 年の実績は 60mil US\$ である。一例として、140TEU 型内航コンテナ船を 2014 年までに 10 隻受注するのが目標。1 隻 5mil US\$ であり、合計 50mil US\$ の売り上げを期待。
- ・バングラデシュの内航船の設計をするのであれば、スペックとしては、ダッカ港が深さ 4.2m ぐらいしかないなので、せめて喫水 4m、できれば 3.5m に抑えるべき。積載量は 1500～1600DWT、コンテナだと 140TEU。長さは 90m 未満。モングラ港であれば、喫水 8m、長さ 120m ぐらいまで大丈夫である。。

### ④ 施設

#### 造船施設

- ・ デザインハウス
- ・ 溶接
- ・ 器材
- ・ 倉庫
- ・ CNC 工場
- ・ 曲げ工場
- ・ パイプ工場
- ・ メカニカルショップ
- ・ エレクトリカル・ショップ
- ・ 電気変電所

#### 船台:

セミ・ドライ-ドック船台

- 長さ: 120m
- 幅: 22m
- 耐加重: 10,000 DWT



建造実績（貨物船等）：

船名	タイプ	載積量	速度	ルート	建造年	写真
BIRSHRESTHA MD RUHUL AMIN SHIPS	RORO 船	トラック 27 台, 乗客 340 人乗務員 27 人	10 ノット	沿岸地域	2011	
ISEFJORD RORO FERRIES	RORO 船	475GT	11 ノット 85% mcr	-	-	
Fishing Trawler	FV アリアンス -1	250 トン	10 ノット	沖合い	-	
FT AGRO FOOD SHIPS	遠洋漁業 トロール船	300 トン	10 ノット	沖合い	2013	
Inland tankers	モーター タンカー	1350 DWT	10 ノット	内陸&沿岸地 域	2013	
BAY CLEANER 2	油廃棄物 回収船	廃油貯蔵- 150 cbm+ 真水- 30cbm+ 燃料油- 40 cbm+ 潤滑油- 3cbm	12 ノット	沿岸地域		
CB BALLIAN	クレーン船	3.5 トン	10 ノット	モンガラ 沿岸地域	2012	
CD IMAM BOKHARI	ConRo	3.5 トン	10 ノット	沿岸地域	2012	
KANDARI 7	ConRo	19,300 dwt	20 ノット	沿岸地域	2013	
ML GANGCHIL	水先船	10 人	15 ノット	沿岸地域	2013	
PV RAKKHI	-	乗客 12 人, 乗務員 10 人	15 ノット	沿岸地域	2011	
EMSLAKE	多目的 ドライカーゴ	貨物載積量:5200DWT 軽量総トン数:1500MT	12 ノット	無制限	2011	
EMSRIVER	多目的 ドライカーゴ	貨物載積量:5200DWT 軽量総トン数:1500MT	12 ノット	無制限	2010	
EMSDOLLART	多目的 ドライカーゴ	貨物載積量:5200DWT 軽量総トン数:1500MT	12 ノット	無制限	2011	
Emssea	多目的 ドライカーゴ	貨物載積量:5200DWT 軽量総トン数:1500MT	12 ノット	無制限		
EMSWAVE	多目的 ドライカーゴ	貨物載積量:5200DWT 軽量総トン数:1500MT	12 ノット	無制限	2011	
EMSTIDE	多目的 ドライカーゴ	貨物載積量:5200DWT 軽量総トン数:1500MT	12 ノット	無制限	2011	
EMSWATER	多目的 ドライカーゴ	貨物載積量:5200DWT 軽量総トン数:1500MT	12 ノット	無制限	2011	
EMSFLOW	多目的 ドライカーゴ	貨物載積量:5200DWT 軽量総トン数:1500MT	12 ノット	無制限	2012	
STELLA ATLANTIC	多目的 ドライカーゴ	貨物載積量:4100DWT 貨物置場 5187CBM 貨物クレーン: 2x60 トン	13.5 ノット	無制限	2012	

建造実績（客船）：

船名	載積量	速度	ルート	建造年	写真
M.V. BANGALI	乗客 750 人	13.6 ノット	内陸河川ルート	2013	
FB AFZA ALTAF & FB ARFA KARIM	乗客 200 人	12 ノット	-	2012	
WESTERN CRUISE	乗客 215 人	12 ノット	内陸及び沿岸地域地域	2012	
KEARI CRUISE & DINE	乗客 246	12 ノット	沿岸地域地域	-	

建造中船舶：

船名	タイプ	速度	積載量	ルート	写真
CONTAINER SHIP	内陸用コンテナ船	10 ノット	176 TEUs コン テナ	チッタゴン港から バンガオン内陸コ ンテナターミナル	
250 TON FISHING TRAWLERS	外洋トロール漁船	10 ノット	250 トン	沖合い	
DEEP SEA MID-WATER FISHING TRAWLERS	外洋トロール漁船	10 ノット	漁獲量:300 トン 牽引力: 26 トン	沖合い	
CATAMARAN FERRY	-	-	乗客 300 人	-	
RORO FERRY	RORO 船	10 ノット	トラック 27 台 乗客 340 人	バングラデシュ 内陸水路	
WATER SUPPLY VESSEL	-	15 ノット	1000DWT	沖合い	
750 PAX PASSENGER SHIP	客船	12 ノット	乗客 750 人	河川ルート	

今後のプロジェクト：

海洋巡視船、176 TEUs コンテナ船、給水船、250 トントロール漁船

(c) KHULNA SHIPYARD LTD<sup>12</sup>



**Khulna Shipyard** (以下 **KSY**) は「バングラデシュ政府国防省独立政府営利企業」であり、バングラデシュ海軍によって運営されている。設立は 1957 年で、延べ約 700 隻の船舶及び舟艇を建造している。建造船種は巡視艇、乾貨物船、タンカー、客船、自航バージ、タグ、浚渫船、揚陸艇など多岐にわたる。最大船型は 700LWT、2000DWT。KSY はクルナのラバンチャラ 68.97 エーカーの土地に建設され、カジバチャ川の川沿いのモングラ海港から約 45km のところにある。

① 施設

引揚船台 : 全長 84m (ドック出入りの船舶の総トン数 700 トンまで)

係留バース : 8 バース、各全長 99m まで

バースクレーン : 8 トン載積量係留クレーン X 1、5 トン載積量係留クレーン X 2

デリッククレーン : 1 (130 トン) .



建造実績

船名	全長	建造年	速力	写真
FERRY KISHANI	42.42 m	2011	10 kt	
STEEL FIRE FIGHTING BOAT ALUMINIUM HARBOUR PATROL BOAT (CGS ATRAI)	13.00 m	2010	12~15 kt	
BANGLADESH NAVY FLOATING CRANE (BNFC BALABAN)	40.2 m	1981	12 kt	
ALUMINIUM HARBOUR PATROL BOAT (CGS ATRAI)	15.00 m	2007	25 kt	
TUG BOAT	30 m	2004	12 kt	
MV SONARGAON	70.15 m	1982	12 kt	
BUOY LAYING VESSEL (BLV LUSAI)	46.609 m	N/A	12 kt	
PATROL CRAFT (5)	50.4	2013	23 kt	

<sup>12</sup> <http://w3.khulnashipyard.com/>

(d) WESTCOAST SHIPBUILDING INDUSTRIES LTD<sup>13</sup>



ムンシゴンジ・ディストリクトのメグナ川岸に 2011 年設立され、その造船所は臨川地区から 340m の所にある 20 ヘクタールの土地に位置している。

同社ウェブサイトによれば、同社は来年から事業開始予定であり、現在のところ建造実績はないが、鉄鋼処理能力 30,000MT、15,000DWT 級の国際水準の船舶 7 隻、3,000DWT 級船舶 2 隻が同時建造可能、3,000DWT の軽量船であれば 20 艘を同時に建造することが可能としている。人員体制は、技術陣 50 名、作業員（契約作業員）1000 名以上を確保しているとのこと。

① 造船施設

ドック:

タイプ	詳細
乾ドック	バタム (Batam) ドック 340m × 60m, c/w 7 × 6,500m <sup>3</sup> /hr 脱水ポンプ, 3 × 35T ラフィングクレーン
レンパン (Rempang) ドック	240m × 38m, c/w ガントリークレーン 150T
ガラング (Galang) ドック	180m × 27m, c/w 1 × 35T ラフィングクレーン

クレーン:

タイプ	詳細
ドッククレーン	トラベル・ラフィングクレーン 50m, 5 × 30T & 1 × 80T 及びトラベル・タワークレーン 65m, 2 × 50TV
ガントリークレーン	2 × 180T/150T/120T, 2 × 80T/65T
オーバーヘッドクレーン	13 X 5-35T
クローラー・クレーン	2 × 200T, 2 × 150T, 1 × 55T, 2 × 50T

その他:

名称	基準
突堤埠頭	350m × 14m, c/w 2 × 35T ラフィング・クレーン
船体ワークショップ	100m × 60m, c/w 4 × 35T オーバーヘッドクレーン
船体ワークショップ	100m × 60m, c/w 4 × 35T オーバーヘッドクレーン
配管ワークショップ	50m × 40m
ブラスティング・プラント	1 × 0.8m/3min

<sup>13</sup> <http://www.westcoast-group.com/>



HIGHSPEED SHIPBUILDING & ENGINEERING 社（以下 HSE）は、Highspeed Group of Companies の傘下企業である。HighSpeed Group は、海運と造船を中心に、プラント建設業なども手掛けるバングラデシュの財閥であり、MOL のバングラデシュ代理店業務も行っている。会長の Rahman 氏は Banglades Shipbuilders' Association や Launch Owners' Association 及び Bangladesh Shipping Agents' Association の会長を務めている。

HSE はかつて三井造船と関係があり設計や土木建設工事の指導を受けていた。1979 年に三井物産、下関造船との協力関係の下造船事業を開始し、そのときバングラデシュ政府に 2 隻の多目的コンテナ船（16,500DWT ロイド船級）を納入している。ただし、本船は実際はバングラデシュではなく日本で建造されている。現在は三井造船との協力関係は解消されているが、現在に至るまで 100 隻以上の様々なサイズ、仕様の船を建造してきた。なお、ウェブサイト上では「2008 年、HSE は東京フレーティング社と日本船主・オペレーター向けの 2000～5000DWT 船舶の建造契約に調印した」とあるが、諸般の事情で本契約は実施されていない。

2013 年の建造実績は小型の旅客船（渡し船）4 隻で、自社設計で機器の調達も自社で行った。年間の建造数は 8 隻～10 隻。

また、同事業所内に修繕部門会社として HIGHSPEED SHIP REPAIRING があり、500DWT から 3,000DWT の船舶の修理をする設備を整えている。油送タンカー、ドライカーゴ（乾貨物）、客船フェリー、タグ、深海漁業用とローラー船、大型舢舨やそのほか特別仕様の船舶を修理している。

#### ① 施設・機器

船台： 引揚能力 長さ 360ft、幅 60ft

揚重機設備：

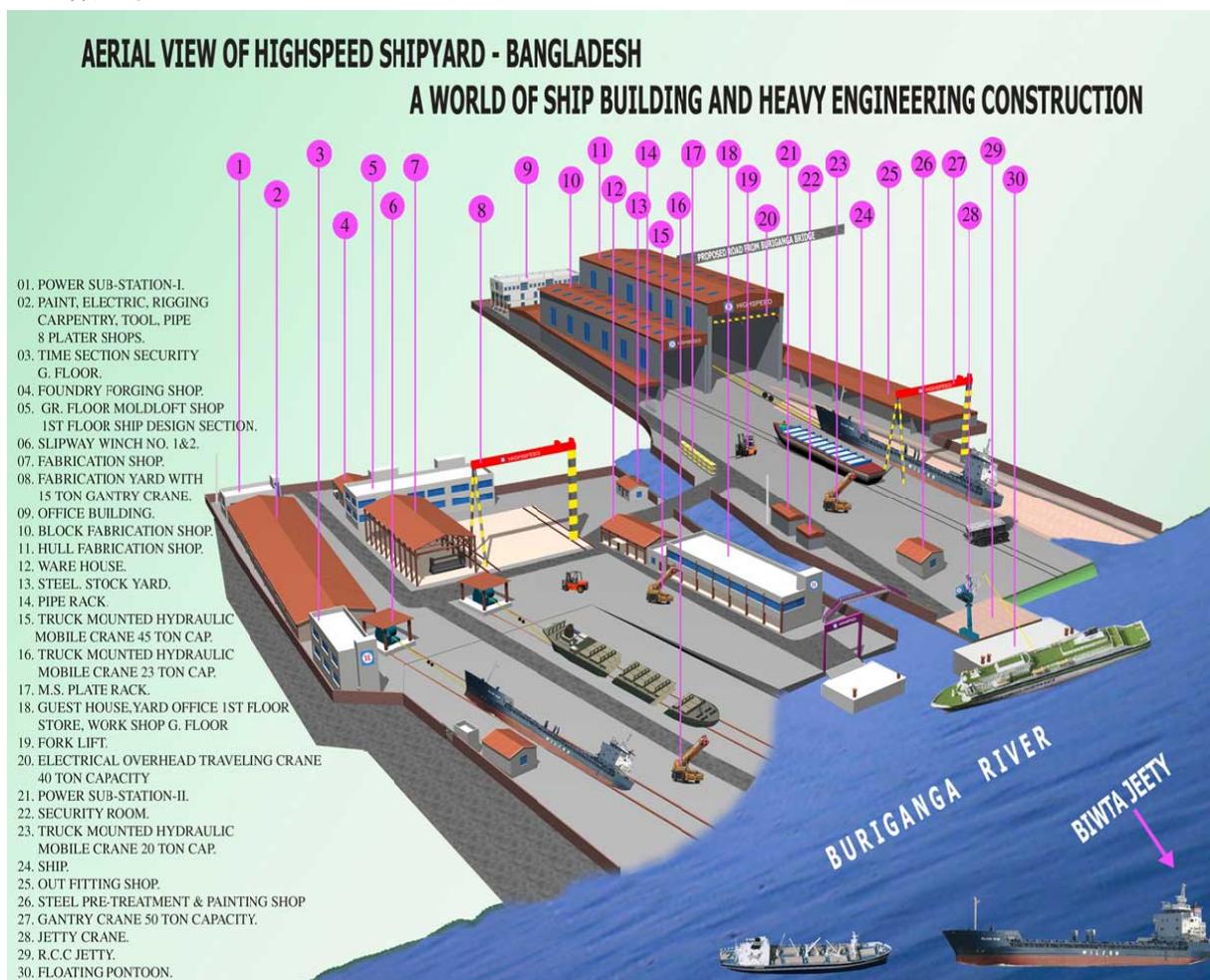
機器	詳細
トラック移動クレーン	最大載積量 45 トン 3.5m 半径
トラック移動クレーン	最大載積量 23 トン 3m 半径; ブームの長さ 31m.
トラック移動クレーン	最大載積量 20 トン 3m 半径; ブームの長さ 25m.
2.5 トンホイストクレーン	載積量 2.5 トン; リフト 8m; スパン 16.5m
造船台ウインチ	最大載積量 10 トン; 最高速度-10mm/min, 最低-5mm/min, ドラム載積量-290×500m
フォークリフトトラック	耐加重 2 トン, 荷重中心-500mm, タイヤ-ハードソリッド 2
オーバーヘッドガントリークレーン	載積量 15 トン

<sup>14</sup> <http://www.highspeed-groupbd.com/>

製造機器：

ディーゼル溶接セット	サブマージ・アーク溶接機
セミ・オートガスカッター	AC 溶接機 (500A)
ローラー曲げ機	AC アーク溶接機 (300A)
1000 トン・プレス	D.C アーク溶接機 MR300
フェーシングマシン・幅 6m.	D.C アーク溶接機 MR300
50 トン・ポータブルプレス	パラレル炎カッター
剪断・打抜機	パイプ開先加工機ガスカuttingマシン
ベンディング スラブ	プラズマ・アーク・カッター 切り込み深さ 10mm

企業マップ：



② 建造実績：

船名	載積量/トン	所有企業名	クラス	建造年
M.T Amena-1	10,000 DWT	Blue Funnel Ltd	NK	2009
M.T. Fazilat	1100 DWT	Bangladesh Petroleum Carriers Ltd.	VIVID	2009
M.T. Ebadee-5 (Elongated & Modified)	1,000 DWT	Ayoti Business Enterprise Ltd.	MMD	2009
O.T. Serjil-1	500 DWT	Highspeed Navigation Co. Ltd.	BIWTA	2009
Tug Sea Prince	500 HP	Highspeed Shipbuilding & Engineering Co. Ltd.	BIWTA	2009
O.T. Serjil-1	500 DWT	Highspeed Navigation Co. Ltd.	BIWTA	2009
Tug Sea Prince	500 HP	Highspeed Shipbuilding & Engineering Co. Ltd.	BIWTA	2009
M.V. Abe ZamZam	700 Passengers	Ayoti Business Enterprises Ltd.	BIWTA	2008
M.V. Sharia-1	800 Passengers	Niamat Carriers Ltd.	BIWTA	2008
Pontoon (30 Nos.)	100'x25'x6'	BIWTA	BIWTA	2007
M.V. SC-12	2,000DWT	Seven Circle(BD) Ltd.	BIWTA	2007
M.V.SC-13	2,000DWT	Seven Circle(BD) Ltd.	BIWTA	2007
(6 Nos.)	64'×28'×6'	BIWTA	BIWTA	2004

③ 船舶修理用施設：

施設	数
重造船台（3000DWT までの船を引き揚げ可能）	5
大型クレーン（20 から 50 トン SWL）	3
全ての補助ワークショップ施設 A	
受変電所と 1000KVA までの待機発電機	



(f) KHAN BROTHERS SHIP BUILDING LIMITED<sup>15</sup>



KHAN BROTHERS SHIP BUILDING LIMITED (KBSL)は、バングラデシュの財閥である Khan Brothers 社が運営する造船所で、近年急速に成長した。造船所はダッカ南東約 30km のショナルガオ地区の近く、メグナ河沿いにある。海外オフィスがシンガポールにあり、ヨーロッパに提携ブローカがいる。

従業員数は正社員 272 名、契約社員 350 名。すべて自社設計で 7 人の設計技師がいるが、業務によっては Marine House や SST Marine などの現地設計会社の協力や、ヨーロッパの設計会社からの協力を得たこともある。

同社はコスト競争力を重視しているため、船主の指定がない限り搭載機器はすべて中国製を採用している。

建造可能船型は最大 12,000DWT（喫水制限のため）。今後輸出船の受注・建造に注力したいとのことで、雨季には喫水増加により 35,000DWT まで建造（進水）可能と考えている。

竣工実績及び手持ち工事量（同社からのヒアリング結果）

船種	隻数	船主	納期
2,000DWT タンカー	2 隻	国内船主	2015 年 2 月
1,500DWT タンカー 国際航行可	2 隻	国内船主	2015 年 4 月
34m ポンツーン	4 基	コーストガード	2015 年 4 月
5,000DWT タンカー	2 隻	国内船主	2015 年 10 月
2,500DWT Bulk	14 隻		納入済み

- ・ 1 隻に係る工期は平均 13 カ月 + 3 カ月程度。
- ・ 建造船の多くは GL、RINA の船級。船級検査は、チッタゴンの船級事務所から検査員が来訪して行う。
- ・ 今後 BIWTC 向けに、K-type Ferry(65m)×2 隻、Utility Ferry (34m) ×2 隻を建造する計画あり。

① 施設・設備

造船所面積は約 187,000 m<sup>2</sup>、スリップウェイは建設中であり、現在は、陸上建造及びバルーン進水方式を採用している。毎日 4 時間程度の停電があり、停電時は自家発電にて電力を賄っている。自家発電中でも溶接作業に影響はないとのこと。

<sup>15</sup> <http://www.kbsbl.com/>

同社事業所関係予想図



現在の建造風景



② 施設・機器

<p>造船用建屋</p>	<p>2棟（連結） （各 80m×25m×16m） 電気式天井クレーン 2基 （40トン・10トン）</p>	
<p>造船台</p>	<p>全長 200m の 2 つの造船台（建設中）</p>	

<p>製作所</p>	<p>2 棟 (80m × 40m × 16m):</p> <p>電気式天井クレーン 3 基 (40 トン, 20 トン, 5 トン)</p>	 <p><b>EOT CRANES</b> CNC and Shot Blasting Hall (10.5 m lifting height) Capacity: 1 x 10 tons 1 x 5 tons</p> <p><b>Ship Building Hall</b> (16 m lifting height) Capacity: 1 x 40 tons 1 x 20 tons 1 x 5 tons</p>
------------	---	---

工作機械:

<p>2 Units CNC Machines</p> <p>Maker: Jiangsu Kmpcr Cutting and Welding Machine Company Ltd.</p> <p>Control System :Micro EDGE Control system Operating System :Windows XP Processor :Intel 2.5 GHz Processor Memory :512 MB RAM Hard disk memory :80 GB Nesting Software :FASTCAM7</p>   <p><b>CNC MACHINES</b></p>	 <p><b>SHOT BLASTING</b> <b>PRIMING MACHINES</b></p> <p><b>MATERIAL HANDLING CAPACITY</b></p> <p>Steel plate: Width 1,000-2,500 mm Length 6,000-12,000 mm Thickness 6-60 mm</p> <p>Profile: Height 400 mm Width 600 mm Length 12,000mm</p> <p><b>Producing Line Treating Speed</b> For steel plate 2,500 mm /min For profile 1,500 mm /min</p>
---	---

建造実績:

			
<p>M.V. Tanguarhaor</p> 		<p>OT Karim</p> 	<p>Golden Goose</p> 
<p>Ferry</p> 	<p>Bangladesh Trading (800 DWT 油送船)</p> 	<p>OT Rida</p> 	<p>Golden Goose</p> 
<p>OT Afsara</p>	<p>Bangladesh Trading (800 DWT 油送船)</p>	<p>1500DWT 沿岸油送タンカー</p>	

(g) CHITTAGONG DRY DOCK LTD<sup>16</sup>

CHITTAGONG DRY DOCK LTD (以下 CDDL) は、バングラデシュ産業省傘下の政府系鉄鋼建設企業 Bangladesh Steel & Engineering Corporation のグループ企業であり、チッタゴン港に寄港する船舶の修繕・整備を主要業務としている。1981 年設立、以来 700 隻以上の修理を実施。

従業員数は 421 名。

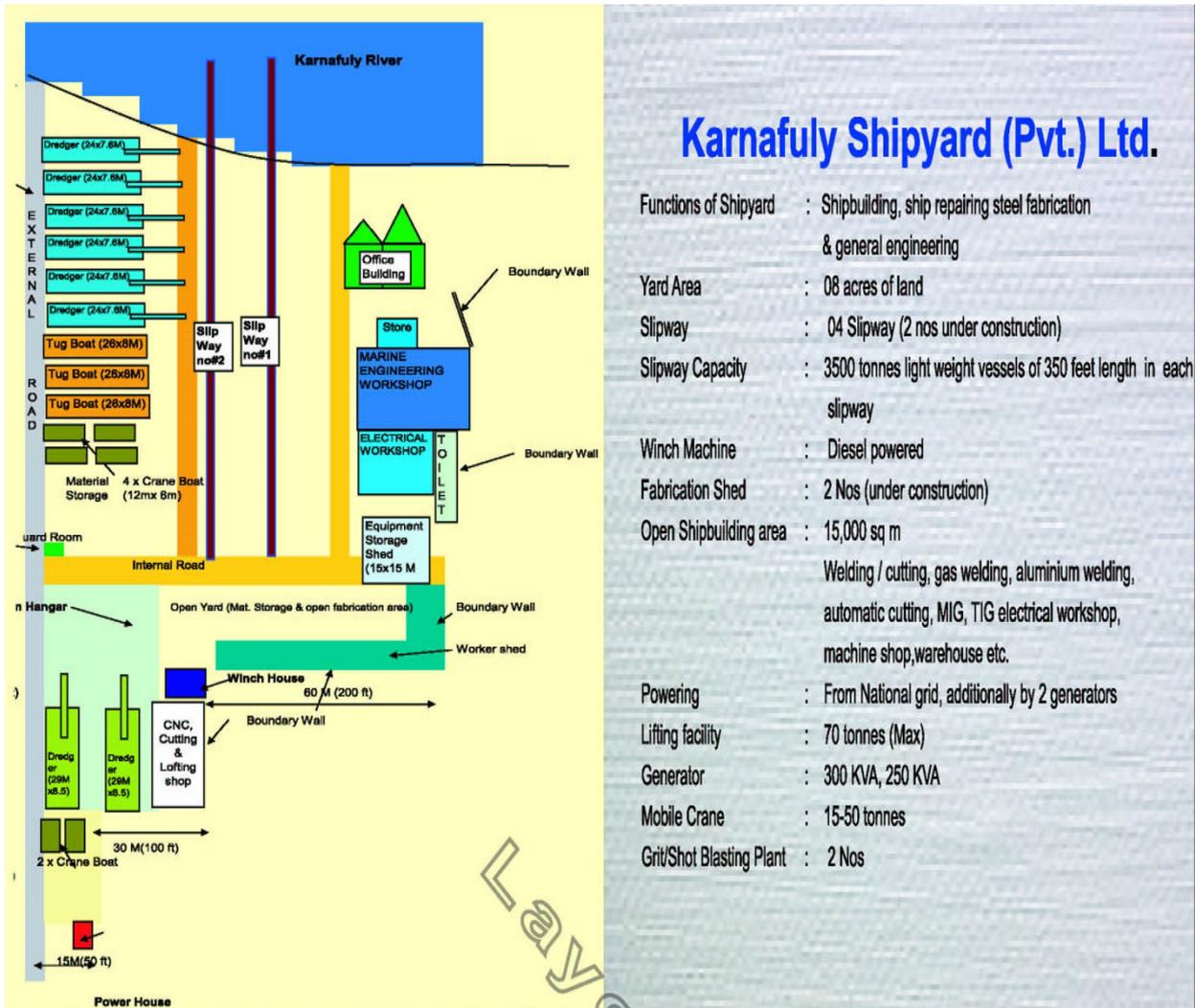
<p><b>乾ドック</b> 全長×幅×深さ：182.9m×27.4m×13.1m (能力：175m、20,000MT) クレーン： 港側：40MT/10MT at 24.3m/37.2m 半径。 右舷側：15MT/5MT at 30.5m/37.5m 半径。 キャプスタン：20MT×2 &amp; 15MT×2</p>	
<p><b>整備埠頭：</b> 全長:停泊のため 342 m /一度に 16500DWT 2 隻係留のため クレーン：50MT/15MT 24.3m×37.2m 半径 37m 半径</p>	
<p><b>機械工場：</b> 120m×60m (9 ベイ) ワークショップには回転、粉砕、穴あけ、形状、くりぬき、出縁、削り、くぼみ、研磨のための機械、鉄鋼木造工作のための道具、3.2MT から 25MT の揚力能力がある 10 台の EOT(電気頭上式走行)クレーンが整えられた鉄鋼木工工作所</p>	
<p><b>製造所：</b> 切断、剪断、深曲げ、圧迫、回転、溶接のためのさまざまな機械と道具がそろった 60m×36m (2 ベイ) のワークショップがあり、スチール及びパイプ用の製作所と 3.2MT から 12.5MT までの揚力能力のある 4 台の EOT(電気頭上式走行)クレーンも備えている。</p>	

<sup>16</sup> <http://www.cddl.gov.bd/>

(h) KARNAFULY SHIP BUILDERS LTD. (KSBL)<sup>17</sup>

KSBLはチッタゴンの Karnaphuly 川の南岸に位置し、1994年の設立以来、オーシャンタグ、トロール漁船、タンカー、ポンツーン、水上バス等 27 隻を建造、400 隻以上の修繕・整備を実施。大型修繕案件としては、事故で大破した 15,000DWT タンカー Banglar Sourab 号の修繕工事を請け負った。マーケティングオフィスを 2 社シンガポールとアメリカに構え、シンガポールにある G.B. Marine 社で船の設計を行っている。

引上げ船台（長さ 500ft, 耐力：軽貨重量 3500t、船長 350ft）2 基、  
従業員数 403 名（経営、技術、工具を含む）



## Karnafuly Shipyard (Pvt.) Ltd.

- Functions of Shipyard : Shipbuilding, ship repairing steel fabrication & general engineering
- Yard Area : 08 acres of land
- Slipway : 04 Slipway (2 nos under construction)
- Slipway Capacity : 3500 tonnes light weight vessels of 350 feet length in each slipway
- Winch Machine : Diesel powered
- Fabrication Shed : 2 Nos (under construction)
- Open Shipbuilding area : 15,000 sq m  
Welding / cutting, gas welding, aluminium welding, automatic cutting, MIG, TIG electrical workshop, machine shop, warehouse etc.
- Powering : From National grid, additionally by 2 generators
- Lifting facility : 70 tonnes (Max)
- Generator : 300 KVA, 250 KVA
- Mobile Crane : 15-50 tonnes
- Grit/Shot Blasting Plant : 2 Nos

<sup>17</sup> <http://www.ksblbd.com/>

建造実績：

名前	種類	全長	建造年	速力/クラス	写真
不明	トロール漁船 (3)	36.50m	2007- 2008	MMD クラ ス	
Kandari 1 Kandari 7 Kandari 8	タグボート	35.00m 27.50m 27.50m	2002 2005 2006	13kt 12kt 12kt	
M.V. Trishna	水タンカー	45.00m	2005	10.50 ノット	

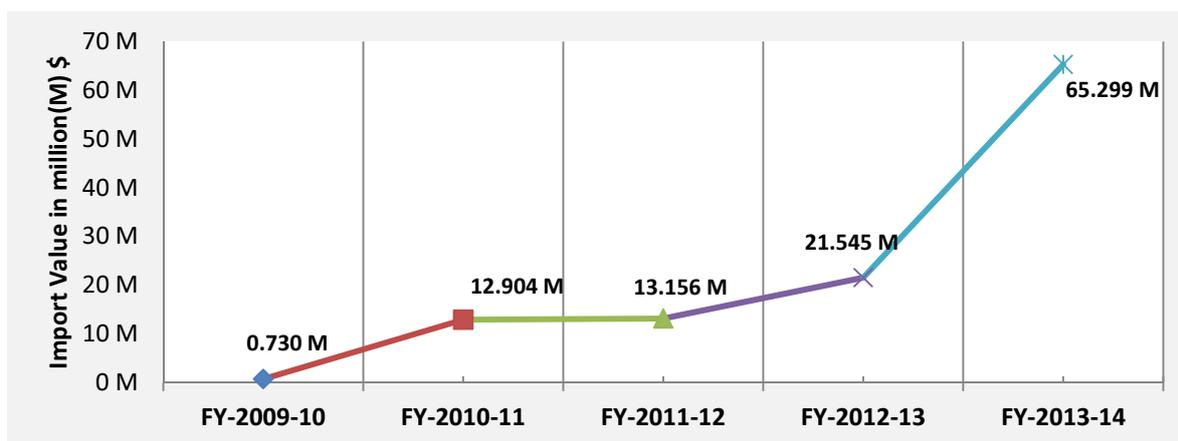
## 第 IV. 章 造船関連資機材の輸入動向

参考資料として、付録「輸入方針法令 2012-15(商務省)より抜粋 船舶及び機械輸入関係」を添付する。

### 第 4.01 節 造船関連資機材輸入実績

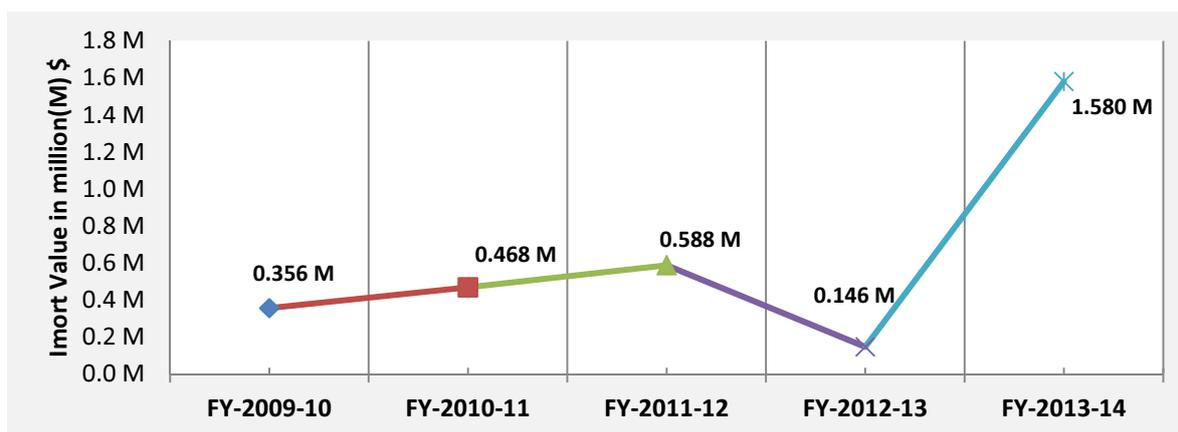
以下の表は、バングラデシュ税関データより、海事産業関連と記載されたものを抽出して集計・作成したものである。

#### ① 船舶用エンジン輸入量推移 (100 万ドル)



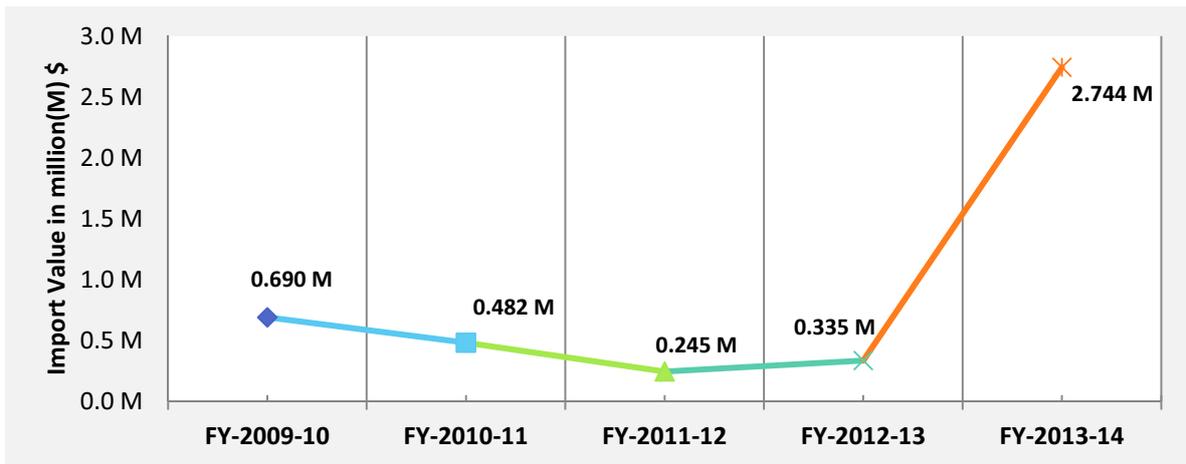
船舶用推進エンジンの輸入量は年々上昇している。2009～2010 年にかけて 73 万ドルであった輸入量は 2013～2014 年にかけて 6,500 万ドルにも上った。

#### ② 海事産業用ポンプ輸入量推移 (100 万ドル)



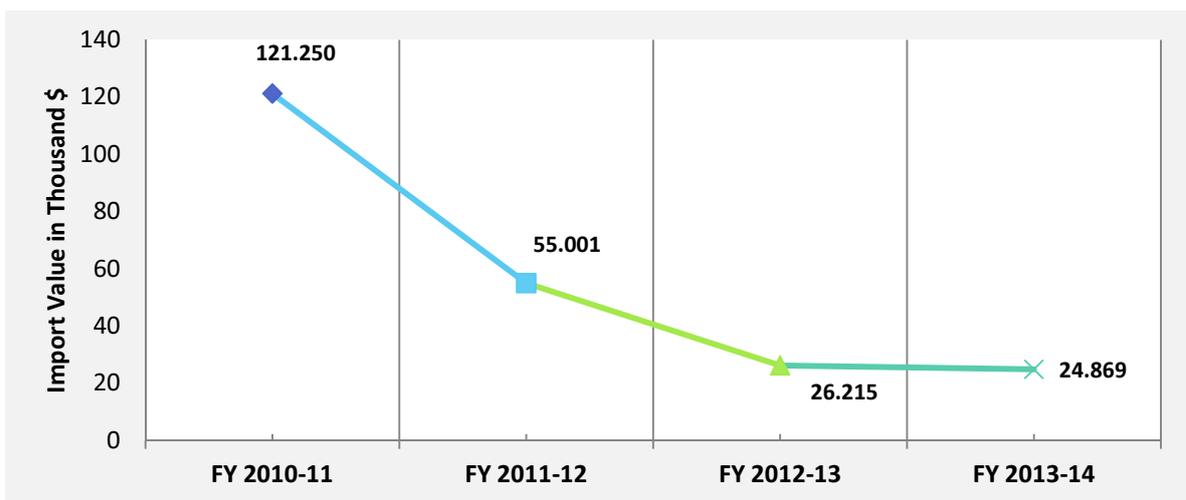
海事産業用ポンプの輸入量は 2009～2012 年にかけて緩やかに増加してきたものの、2013～2014 年にかけて急激に上昇した。

③ 船舶・ボート用プロペラ及びその部品 輸入量推移 (100 万ドル)



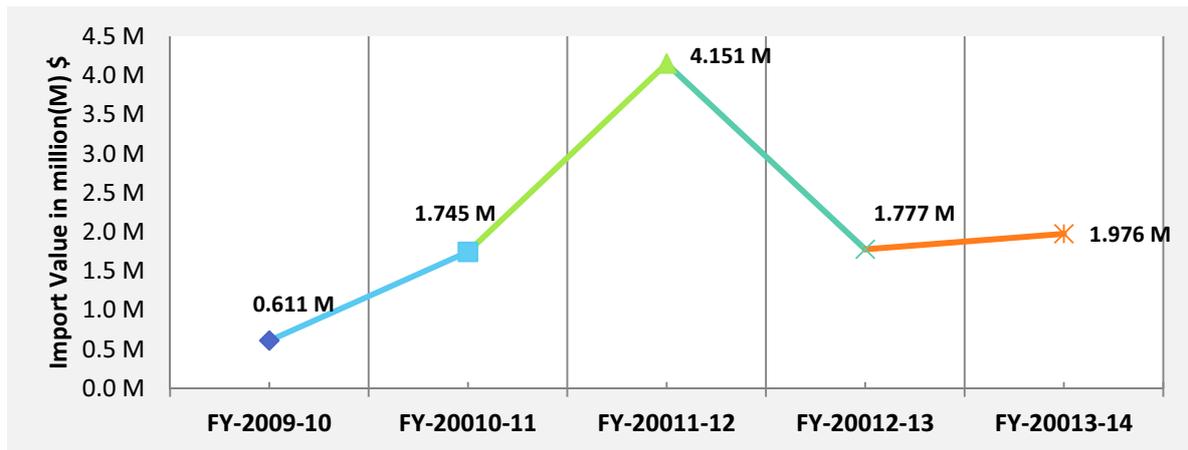
船舶・ボート用プロペラ、翼の輸入量は 2009～2012 年にかけては少なかったが、2013～2014 年にかけて急激な増加となった。

④ 漁船用エンジン輸入量推移 (100 万ドル)



漁船用エンジンの輸入量は 2010 年に\$121.250 であったが減少し、2013～2014 年の輸入量は\$24.869 となった。

⑤ その他機械・部品輸入量推移（100万ドル）

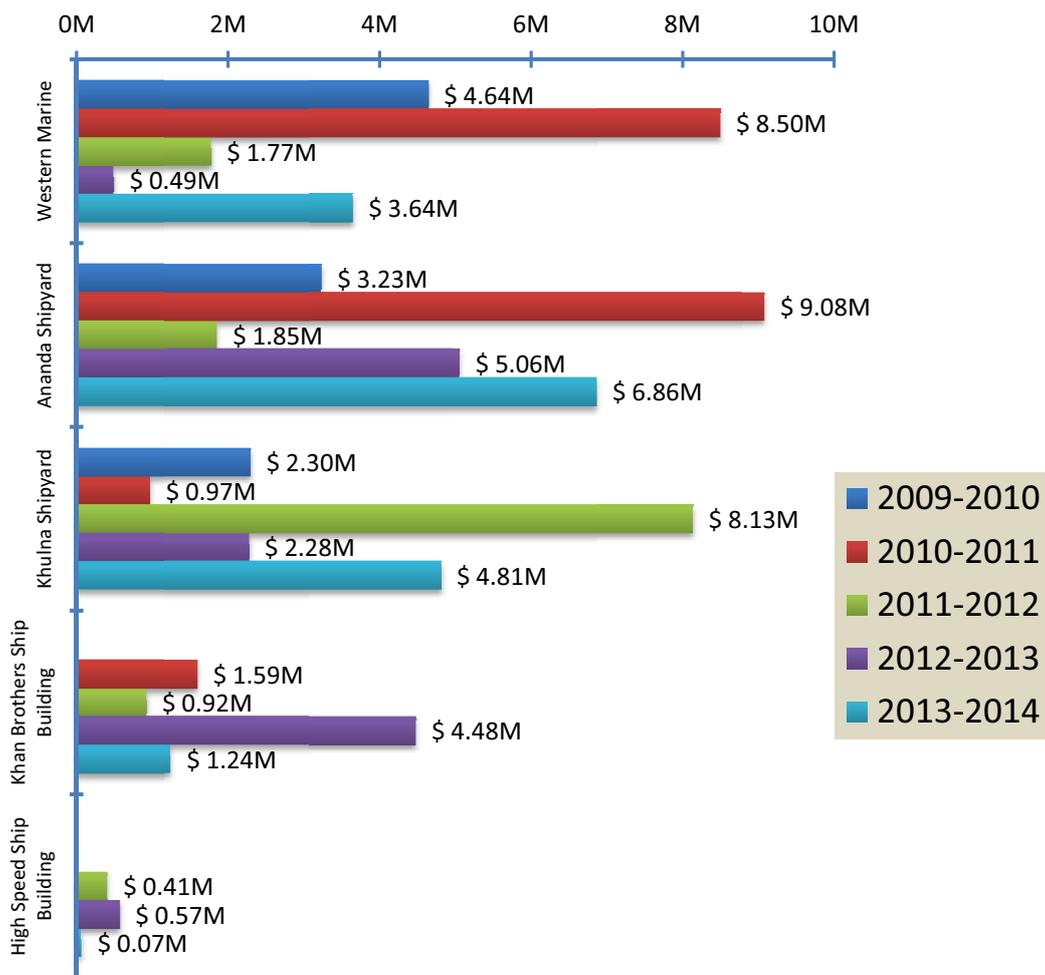


その他機械・部品は 2009～2012 年にかけて上昇傾向にあったが 2012～2014 年にかけて減少した。

#### 第 4.02 節 主要造船所別輸入額

図 14 はバングラデシュ主要造船企業の輸入量の推移である。High Speed 社は 2008 年まで主力企業であったが、2008 年以降生産量が減少し、輸入量も小さいものとなった。マーケットリーダーは Ananda Shipyard 及び Western Marine であり、政府系 Khukna Shipyard も相応の輸入量を持つ。Khan Brothers は上述企業と比べると少ないものの、2012～2013 年にかけて輸入量を大きく増やしている。

図 14：主要造船企業による輸入量推移（100 万ドル）



出所：バングラデシュ税関データをもとに作成

#### 第 4.03 節 資機材調達に係る現地造船所の意識（A 社ヒアリングより）

使用機器は、独ブランド（中国製を含む）、キャタピラー社などが多い。欧州向け輸出船の場合は、船主の指定（支給）により欧州製や日本製機器が搭載される。鋼材は、アイスクラス用など高品質なものは日本より購入。ただし、納期が間に合わない、供給が足りない、といった問題がある。韓国製（POSCO）も ICE クラスに使える。内航用などは中国、韓国、インドから購入。

日本のエンジンブランドはいくつか知っているが、これまで直接コンタクトを取ったことはない。

内航船用の資機材は主として中国製。内航オーナーは安価な中国製を好む。1500DWT クラスで、すべて中国製の資機材を使えば、1 隻 2mil US\$ で建造可能である。オーナーとしては「壊れたら交換すればよい」という考え方。信頼性や燃費の違いがあることは承知しているが、基本的にオーナーとオペレーターは別であり、オーナーにとってはあくまで船舶は投資の対象。銀行融資も 5 年償還（1 年据え置き）、金利が 17～18% にも達することから、短期で資金回収できる投資価格であることを重視する。

建造資金融資については、欧州船主からの受注船舶や欧州製機器を使用する場合には、独などの欧州銀行が融資を行うことがある。なお、バングラデシュ内の市中金利は 17～18%（2012 年当時）。

独から船用機器を購入する場合、独の輸出銀行がバイヤーズクレジットをつけてくれる（※ 欧州向け輸出船に限るかどうかは不明）。金利は 4.5% であり、一年後に支払えばよい。こうした資機材の購入資金を市中銀行から調達しようとする、与信枠は問題ないものの（建造契約を見せれば貸してくれる）、利息は 20% 近くもある。船舶の建造期間は約 2 年であり、その間の資機材調達に掛かる金利は無視できない。日本からの資機材購入費について、日本が低利で融資してくれるのであれば日本製品の購入は考慮したい。

船用資機材輸入に掛かる関税は 5%。輸出船に搭載される場合には免税となる。

## 第 V. 章 海事関連公的機関及び業界団体

### 第 5.01 節 行政機関及び業界団体

バングラデシュの海事部門は海運省 (Ministry of Shipping) の管轄である。海運省には国内水路、内陸水運、港、国際海運、安全環境、海事運輸、海事教育の監査機関が含まれている<sup>18</sup>。海運省がバングラデシュの海事産業で行っている主な役目は政策立案である。また海運省の下、バングラデシュ内陸水運局 (Bangladesh Inland Water Transport Authority)、バングラデシュ内陸水運公社 (Bangladesh Inland Water Transport Corporation) チッタゴン港湾局 (Chittagong Port Authority)、モングラ港湾局 (Mongla Port Authority)、バングラデシュ陸上港湾局 (Bangladesh Land Port Authority)、バングラデシュ海運公社 (Bangladesh Shipping Corporation)、船舶局 (Department of Shipping)、海軍アカデミー (Marine Academy)、国家海軍研究所 (National Maritime Institute)、国際河保全委員会 (National River Protection Commission) 及びパイラ港湾局 (Paira Port Authority) の 10 組織があり、海運省はそれら各機関が行うプロジェクトの認可を行う (プロジェクトによっては自ら実施する)。

政府機関とバングラデシュ海事産業の民間業界団体の全ては海運省と協力して作業を進めている。海運省は各団体・企業が政府の規則と政策に従って業務作業を進めているか監督している。船舶局は海運省の下部組織であり、国際海運、内陸水運 (国内沿岸海運、河川水運) 部門を監督している。

表 11：海事関連政府関係組織及び非政府関係組織概要

政府機関 (各機関は海運省に属する)	
海運省 (Ministry of Shipping)	海事産業の発展、管理、内陸水運の管理、水上の入口の操作を行っている。
バングラデシュ内陸水運局 (Bangladesh Inland Water Transport Authority)	内陸水運に関する規制の制定、運賃及びスケジュールの認可、船舶の監督、河川航路の整備・浚渫等を行っている。また、インドとの内陸水運協定の締結
バングラデシュ内陸水運公社 (Bangladesh Inland Water Transport Corporation)	BIWTA の傘下で、貨物及び旅客輸送を行っている公営水運会社。
チッタゴン港湾局 (Chittagong Port Authority)	チッタゴン港の管理、運営。詳細は 6.1 章に記載。

<sup>18</sup> *Ministry of Shipping*. Available: <http://www.mos.gov.bd/index.php/mos-home>. Last accessed 21st Aug 2014.

モングラ港湾局 (Mongla Port Authority)	モングラ港の管理、運営。詳細は 6.2 章に記載。
バングラデシュ陸上交通局 (Bangladesh Land Port Authority)	2001 年に設立され、内陸港の Bangladesh Sthala Bandar Kartripaksha land port と組み、インド、ネパール、ミャンマー、ブータンといった近隣諸国との取引を促進することに努めている。
バングラデシュ海運公社 (Bangladesh Shipping Corporation)	政府系海運企業。船の売買、貸し出し、処分を行っている。また船の検査、修理等も行っている。
船舶局 (Department of Shipping)	船舶局は海運（国際、国内）に関する政策の策定、実行担当機関。また、船舶業の発展、海事に関する教育や認可、船員の社会保障、船の登録・検査も行っている。
Marine Academy	政府の下に置かれた海事教育機関であり、海事産業組織の中でもホワイトリストに載っている。
国家海事研究所 (National Maritime Institute)	1952 年に設立され船員の教育を行う最も大きな研究所の一つである。
国際河川保全委員会 (National River Protection Commission)	河川周辺の不法な土地横領を防ぐ為の委員会。
パイラ港湾局 (Pairsta Port Authority)	バングラデシュで 3 番目にプトゥリ地区にできた海港。2013 年に設立されたがまだ運営は行われていない。
<b>非政府組織</b>	
バングラデシュ造船協会 (Bangladesh Ship-Builders Association)	造船業者が所属する組織。造船業界の産業発展・拡大に努め、その為に政府への提言も行う。 設立：1989 年。 会長：HighSpeed Ship Building & Engineering Ltd の Managing Director を務める K. M. Mahmudur Rahman 会員数：150 社。ただし、実際に活動しているのは 21 社。 主な活動内容：会員の登録の管理、資器材等の輸入に関する事柄や税について政府組織や税関への提言、海事産業フェアの協同運営、その他海事産業及び会員にとってビジネス環境の改善に関する事。
バングラデシュ運送取扱業協会 (Bangladesh Freight Forwarders Association)	バングラデシュ国内運送業者と国際運送取扱業者から構成された組織。産業発展に努め、運送のサポートを行う。 設立：2003。バングラデシュ貨物代理店協会 (Association of Cargo Agents of Bangladesh) と国際運送取扱業協会 (International Freight Forwarders Association of Bangladesh) が合併し、貨物物流全般に係る団体として設立。
バングラデシュ貨物船主協会 (Bangladesh Cargo Vessel Owners Association)	内陸船の所有業者によって構成された組織。会員が抱える問題や積み荷の値段、法について政府に提言も行う。
バングラデシュ船舶代理店協会 (BANGLADESH SHIPPING AGENTS ASSOCIATION)	船舶代理店業者によって構成された組織。積み荷が公正に取引されているか管理する。

<b> Bangladesh Launch Owners' Association (LAUNCH OWNERS' ASSOCIATION OF BANGLADESH)</b>	通船（ランチ）所有者によって構成された組織。会員が抱える問題の共有、改善に努める。
<b> Bangladesh Streamer Agents' Association</b>	1979年設立。
<b> Bangladesh Coastal-Ship Owners Association (BANGLADESH COASTAL-SHIP OWNERS ASSOCIATION)</b>	沿岸船所有者によって構成された組織。会員が抱える問題の共有、改善に努める。
<b> Bangladesh Shippers Council (SHIPPERS COUNCIL OF BANGLADESH)</b>	船員によって構成された組織。船員が抱える問題の改善に努める。
<b> Water Transport Cell (水上交通協会)</b>	様々な政府機関と連携して、海上交通の安全な取引に努める（船舶の割り当てや使用料支払いの確認、関税や手数料等納入の確認、輸送状況の確認、争議の調停、関連団体への情報提供など）。船の乗客は何か問題があった際にこの協会へ問い合わせることができる。

## 第 5.02 節 海事関連の教育機関

### (a) 造船関係

造船分野の高度教育機関は Bangladesh 工科大の造船学科があり、毎年すぐれた技術者を育成している。

工員の教育機関は 171 校の造船に関する職業訓練校があり、そこでは見習いの技術者や職人を毎年育て、卒業後は技術者、職人、専門家として企業に就職している。

Bangladesh では約 10 万の熟練工、15 万人の非熟練工がいるとされる。非熟練労働力は極めて安価かつ大量に供給可能であり、労働賃金は中国の約 1/3、ベトナムの約 1/2。

## (b) 海運関係

船員教育については、国営の Bangladesh Maritime Academy 及び National Maritime Institute が国際水準の船員教育を行ってきた。近年では多くの民営の船員教育機関が設立されており、現在約 18 校の私立の商船訓練学校がある。学校・研究所は下記のとおり。<sup>19</sup>

	学校・研究所名（公営）	住所
1	Bangladesh Maritime Academy	Chittagong -4206, Website: www.macademy.gov.bd
2	National Maritime Institute	Chittagong Website: www.nmi.gov.bd

No.	学校・研究所名（民営）	住所
1	Maritime Institute of Science & Technology (MIST)	Achorage –D,Bay’s Treasure Island,(4th Floor),42-43 Siddeswari Circular Road,Shantinagar,Dhaka.
2	Bangladesh Maritime Training Institute (BMTI)	House No-12, Road -8, Sector-3,Uttara Model Town, Dhaka
3	Shah Marine & Business Institute	Adassa Chayaneer Housing Society,North Adabor, Ring Road, Shamoli, Dhaka-1207
4	MAS Maritime Academy	House # 1, Road # 1, Lane# 5, Block # L,Halishahr Housing State,Chittagong.
5	Academy of Marine Education and Technology (AMET)	18/19, Madina Market (2 <sup>nd</sup> Floor),Chouminy , Chittagong.
6	International Maritime Academy (IMA)	House No-12, Road No-8, Sector -3,Uttara Model Town, Dhaka-1230
7	United Marine Academy	Suganda Holding Plot 29/C & 29/D,Tegjoan Industrial Area, Dhaka
8	Bay Maritime Training Institute	C&F Tower (4 <sup>th</sup> Floor),1222-Sk, Mujib Road, Agrabad, Chittagong
9	West Way Maritime Institute (WMI)	House No- 44, Road No-13, Sector- 12, Uttara,Dhaka-1230
10	Atlantic Maritime Academy	Surma Mansion, House No-19,Road No-1,Sector- 13, Uttra,Dhaka.
11	Cambridge Maritime College(CMC)	House # 02, Road # 04,Sector# 09, Uttara,Dhaka-1230
12	Ocean Maritime Academy	Tulatoli Road, Faujdarhat,Chittagong.
13	International Maritime Training Academy(IMTA)	S&F Bhaban (4 <sup>th</sup> Floor),153/1, Green Road,Dhaka-1205
14	Marina Academy	ANS AMIR PLAZA (2 <sup>nd</sup> Floor),257 Boro Moghbazar, Dhaka-1217
15	Western Maritime Academy	GPG-146, Wireless gate, Mohakhali, Banani,Dhaka-1000
16	Asian Maritime Academy	House No- 06, Road # 3/F, Sector #09, Uttara,Dhaka-1230
17	US Bangla Maritime Academy	17- Karnogof , Word No-3,Tarabo, Narayangonj
18	National Marine Academy of Bangladesh	Pranhoridas road,South Kattoli,Custom Academy, Pahartoli, Chittagong.

<sup>19</sup> (Author Unknown). (). Approved Maritime Training Academy/Institutes. Available: [http://dos.gov.bd/?page\\_id=928](http://dos.gov.bd/?page_id=928). Last accessed 2nd Oct 2014.

### 第 5.03 節 政府・協会の活動

造船業の発展・振興に係るこれまでの政府と造船協会の活動は、極めて限定的である。造船業は、海運省の定める法律・規制の下、バングラデシュ造船協会（**Bangladesh Shipbuilders Association**）を中心に活動が行われているが、専門家によると、政府と造船協会ともに産業の発展に関し未だ計画段階にあり実施には至っていないと述べている。現在、協会は短期間（2～3年）融資が極めて高利であることから（10～15%）、その引下げを求めている。また彼らは政府が行っている政策立案や決定に参画しようと考えているが、専門家はまずは協会自身が組織として成り立ち、その能力の確保に努めるべきと述べている。

現在、バングラデシュは未だ造船に関する基本政策と関連法がない。それらの草稿案が政府で検討中であるが、未だ承認、制定には至っておらず、産業を促進するプラットフォームが欠けている状態である。また、業界は、造船と船舶リサイクルについては分離して政策を策定するよう求めている。現在、船舶リサイクルについては産業省が所管省であるが、造船業については海運省が所掌するものと予想されている。ただし、業界内には、海運省は、2000年に国家海運政策（**National Shipping Policy**）を策定した後も具体的な振興策を打てておらず、能力を疑問視する声もある。

バングラデシュ政府計画委員会が策定した 2021 年までの長期ビジョン「**PERSPECTIVE PLAN OF BANGLADESH 2010-2021**」（2012年改訂）においては、造船業は国の重要産業の一つと位置付けられ、海運・内陸水運の振興についても述べられている。今後の具体的施策の策定と実施が望まれる。（該当部分の抜粋を付録に掲載）

## 第 VI. 章 バングラデシュの海事展

これまでにバングラデシュで開催された大きな海事展は以下の二つ。

### ① International Exhibition on Maritime, Port, Shipping

第1回は2012年7月12日から14日までチッタゴンで開催された。32の造船所、修理工場、エンジニアリング会社、機器製造工場産業サービス業者が参加した。2014年に第2回MPS展示会が開催され、下記はその<sup>20</sup>の概要である。

名称	2nd International Exhibition on Maritime, Port, Shipping, Navy Ship Building, Ship Building Equipment, Ship Repairs, Boat Builders, Offshore, Maritime Institute, Training Technologies, Products, Services and Tradeshow
併催イベント	南アジア「トレイン・テック」博覧会-バングラデシュ 2014 South Asian "Train Tech" Exhibition-Bangladesh 2014
日時	2014年6月25-27 (10.00-19.00)
場所	チッタゴン・ボート・クラブ (チッタゴン、バングラデシュ)
後援	海運省
主催者:	LIMRA Trade Fairs & Exhibition Pvt Ltd.,
共同主催者	農村開発アカデミー (RDA) <a href="mailto:sanowar.falgun@gmail.com">sanowar.falgun@gmail.com</a>

### ② MARINETECH BANGLADESH

第1回は2011年開催。主催者はExhibition Summary of ExpoNet Exhibition (Pvt.) Ltd.で、バングラデシュ造船協会と共同で毎年開催。。この展示会はダッカを拠点に開催される。第4回マリンテック・バングラデシュ・エキスポ2014は2014年3月12日から14日までダッカにあるボンゴボンドゥー・国際会議センター (Bangabandhu International Conference Centre) で開催された。次表は2011~13年<sup>21</sup>までの過去3回の概要である。

主催者によれば、参加者数が低調であったため、2014年以降開催しておらず、2015も開催予定はない。

名称	MARINETECH BANGLADESH 2011	MARINETECH BANGLADESH 2012	MARINETECH BANGLADESH 2013
日程	2011.01.11-13	2012.01.19-21	2013.03.12-14
場所	ダッカ・シュナルガオンホテル	ダッカ・シュナルガオンホテル	ボンゴボンドゥー・国際会議センター
出展者	20	26	60
協賛パートナー	3	7	18
会場面積	2,918 m <sup>3</sup>	3,620 m <sup>3</sup>	5,471 m <sup>3</sup>

<sup>20</sup><http://www.limraexpo.com/events/mps/factsheet.html>

<sup>21</sup><http://www.marinetechbd.com/Marinetech-2013>

<p>入場者</p>	<p>入場者: 1200 人          &lt;内訳&gt;          取引入場者: 600          国際代表団: 80          政府関係者: 120          学術県研究機関: 50          学生: 200          一般:150</p>	<p>入場者: 1800 人          &lt;内訳&gt;          取引入場者: 900          国際代表団: 140          政府関係者: 160          学術関係機関: 100          学生: 300          一般: 200</p>	<p>入場者: 2900 人          &lt;内訳&gt;          取引入場者: 1500          国際代表団: 280          政府関係者: 220          学術関係機関: 150          学生: 450          一般:300</p>
------------	---	---	---

# 付 録

付録 1: チッタゴン海運局登録船舶（外航商船）

No.	船舶名	登録年	建造国	船種	全長	速力 (kt)	GT	DWT	所有者	購入元/国
1	Amsir	1988	日本	BULK	214.00m	13	36,554	56,808	AKSL	セントビンセント グレナディーン
2	Ismar	1985	日本	BULK	186.00m	12	25,980	45,882	AKSL	パナマ
3	Assad Ullah	1990	ブルガリア	BULK	158.87m	15	12,453	16,969	AKSMSL	パナマ
4	Crown Voyager	1999	日本	BULK	189.8m	27.6	27,011	16,011	AMB	香港
5	Akij Wave	1995	日本	BULK	189.80m	14	27,011	46,640	AOL	Cayman 島
6	Akij Glory	1985	日本	BULK	174.00m	14	24,647	42,605	ASL	中国
7	Naimul Mowla	1986	日本	BULK	169.28m	14.1	20,046	35,689	ASLL	
8	Crystal Sapphire	1987	韓国	BULK	182.16m	14	28,739	47,311	BNL	インド
9	Abdullah	1996	日本	BULK	186.00m	10	26,070	14,872	BRSL	パナマ
10	Ammar	1998	日本	BULK	186 m	10.3	26,014	14,872	BRSL	パナマ
11	Banglar Doot	1987	中国	BULK	159m	6.2	13,125	6,008	BSC	Seapac 1 (名前)
12	Banglar Gourab	1983	フランス	BULK	N/A	N/A	9,782	5,309	BSC	
13	Banglar Jyoti	1986	デンマーク	TANKER	138.03m	7.9	8,672	4,562	BSC	
14	Banglar Kakoli	1979	日本	BULK	154.79m	8.4	12,521	6,044	BSC	
15	Banglar Kallol	1979	日本	BULK	154.82m	8.6	12,521	6,044	BSC	
16	Banglar Mamata	1980	日本	BULK	154.16m	10.5	11,764	6,102	BSC	
17	Banglar Maya	1980	日本	BULK	N/A	N/A	11,764	6,102	BSC	
18	Banglar Moni	1983	ドイツ	BULK	N/A	N/A	10,383	5,532	BSC	ドイツ
19	Banglar Mookh	1988	中国	BULK	N/A	N/A	13,125	6,008	BSC	
20	Banglar Shikha	1991	中国	BULK	N/A	N/A	9,927	4,913	BSC	
21	Banglar Shourav	1986	デンマーク	BULK	N/A	N/A	8,672	4,562	BSC	
22	Borak-1	1994	韓国	BULK	182.40m	13.5	26,818	43,980	BSL	パナマ
23	Brave Royal	1984	日本	BULK	176.00m	11	20,277	34,607	BRSL	SERI (名前)
24	Fatema Jahan	1995	日本	BULK	185.74m	11.1	26,063	14,872	BRSL	SIETE OCEANOS (名前)
25	Khadeejah Jahan	1997	N/A	BULK	189m	N/A	25,074	15,145	BRSL	パナマ
26	Deshbandhu-1	1987	日本	BULK	174.70m	13	24,536	42,552	DSL	パナマ
27	Omera-1	1986	台湾	BULK	180.73m	13	23,624	41,351	ECBCL	パナマ
28	Bashundhara-1	1985	日本	BULK	189.20m	13	27,535	46,874	EWPDP	ギリシャ
29	Bashundhara-2	1986	日本	BULK	189.20m	13	27,535	46,874	EWPDP	ギリシャ
30	Bashundhara-3	1985	日本	BULK	185.00m	13	22,531	37,722	EWPDP	バハマ
31	Bashundhara-4	2008	インドネシア	BULK	101.00m	13.5	6,559	9,400	EWPDP	ツバル
32	Bashundhara-5	2008	中国	BULK	101.08m	13	6,559	10,187	EWPDP	ツバル
33	Bashundhara-6	1994	日本	BULK	189.99m	11.9	25,072	15,145	EWPDP	ツバル
34	Dahiatul Kalbi	1986	スペイン	BULK	148.70m	13	10,576	16,247	GSL	インドネシア
35	Banga Barta	1983	ドイツ	CONT.	125.27m	12.5	5,505	7,870	HRC	Sinar Sumba (名前)
36	Banga Bijoy	1983	日本	CONT.	126.50m	14.5	5,932	7,536	HRC	Asian Link (名前)
37	Banga Biraj	1982	ドイツ	CONT.	133.30m	14.5	8,350	11,804	HRC	Johanna (名前)

38	Banga Bonik	1983	日本	CONT.	126.50m	14.5	5,883	7,536	HRC	Dolphin Express (名前)
39	Banga Borak	1984	日本	CONT.	121.40m	13.5	7,017	9,687	HRC	Green Better (名前)
40	Banga Lanka	1978	ドイツ	CONT.	133.80m	11	7,560	11,680	HRC	Fong Lee (名前)
41	Banga Borti	1984	日本	CONT.	121.40m	13.5	7,017	9,687	HRC	Green Bridge (名前)
42	Crystal Gold	1986	日本	BULK	160.70m	12.5	16,608	27,586	IGNL	Not Available
43	Meghna Princess	1995	日本	BULK	182.83m	14.5	26,381	47,574	JFDML	パナマ
44	Jahan	1995	日本	BULK	178.08m	14	26,049	45,665	JML	
45	Jahan Sisters	1996	日本	BULK	189.99m	14	26,449	47,639	JML	Marshall Is
46	JK Monowara	1990	日本	BULK	172.88m	13.5	23,277	42,249	JKML	パナマ
47	Jahan Moni	1996	クロアチア	BULK	176.29m	13	25,600	44,382	KSL	Bahamas
48	Omera Queen	1997	日本	BULK	243.00m	15	56,127	106,547	MJLBL	パナマ
49	Golam·E·Mostofa	1986	スペイン	BULK	148.70m	12	10,572	16,210	MRTL	
50	Jahan Brothers	1994	日本	BULK	177.97m	13	25,899	43,648	MSL	Marshall 島
51	Noor-1	1990	日本	TANKER	111.30m	11	4,792	7,959	RSLL	
52	Ratan Fedility	1989	中国	BULK	118.92m	13	6,425	8,109	RSLL	
53	Ratan Pathfinder	1986	ドイツ	BULK	167.75m	14	16,314	23,930	RSSL	セントビンセント グレナディーン
54	Ratan Pearl	1988	中国	BULK	118.92m	13.5	6,425	8,109	RSSL	リベラ
55	Aisha Sarwar	2000	日本	BULK	189.33m	13.4	26,612	16,488	SRSL	パナマ
56	Khadija Jahan	1985	日本	BULK	177.69m	13.7	22,271	37,596	SRSL	
57	Maa Saleha Begum	1987	韓国	BULK	176.56m	14	24,621	41,311	SRSL	Marshall 島
58	Maa Samuda Khatun	1987	韓国	BULK	176.56m	14	24,615	41,630	SRSL	Marshall 島
59	Sarwar Jahan	1985	日本	BULK	174.54m	12.5	23,186	41,084	SRSL	Custodia Athena (名前)
60	Shahriar Jahan	1985	日本	BULK	180.34m	14	22,053	37,568	SRSL	パナマ
61	Mikaeel	1986	ポーランド	BULK	185.61m	13	21,531	33,400	SSL	タイ
62	M.V. Trans Ocean Progress	1987	日本	BULK	185.90m	13	25,169	42,183	TOLL	キプロス
63	Trans Ocean Progress	1987	日本	BULK	195 m	7.8	25,169	15,080	TOLL	キプロス
64	Trans Ocean-1	1986	日本	BULK	172.33m	14	21,941	38,398	TOLL	パナマ
65	Trans Ocean-2	1986	韓国	BULK	186.73m	14.5	29,275	41,409	TOLL	シンガポール
66	Grand Royal	1987	日本	BULK	180.80m	12.25	22,155	39,072	VML	パナマ
67	Great Royal	1994	日本	BULK	180m	8.5	23,263	13,807	VML	韓国

出所：DOS ([www.vesseltracker.com](http://www.vesseltracker.com)<sup>22</sup>)

<sup>22</sup> (Author Unknown). (2014). *Vessel List*. Available:  
<https://www.vesseltracker.com/en/VesselArchive/Bangladesh/All.html?tablePage=0>. Last accessed  
21st Oct 2014.

付録 2： チッタゴン港貨物取扱実績等  
 (出所：チッタゴン港湾局ウェブサイト<sup>23</sup>)

表 12：年間取扱貨物量 (MT)

年	輸入	輸出	合計
2007-2008	2,53,46,048	36,00,520	2,89,46,568
2008-2009	2,67,18,834	37,63,747	3,04,82,581
2009-2010	3,28,13,208	41,87,968	3,70,01,176
2010-2011	3,99,14,145	49,80,375	4,48,94,520
2011-2012	3,61,84,935	47,16,374	4,09,01,309

表 13：チッタゴン港湾局及びダッカ内陸コンテナデポにより取り扱われたコンテナ量

会計年度	チッタゴン港						ダッカ内陸コンテナデポ (ICD)			
	輸入		輸出		合計		輸入		輸出	
	TEUS	TONS	TEUS	TONS	TEUS	TONS	TEUS	TONS	TEUS	TONS
2007-2008	5,17,510	74,98,904	5,10,235	31,44,310	10,27,745	1,06,43,214	40,333	3,86,792	41,587	1,87,893
2008-2009	5,57,891	81,69,677	5,50,165	32,27,074	11,08,056	1,13,96,751	36,427	3,46,928	37,009	199,652
2009-2010	6,12,883	93,77,271	5,99,769	35,62,978	12,12,652	1,23,40,249	32,781	3,01,818	33,086	1,90,429
2010-2011	7,29,693	1,10,71,826	7,39,221	45,11,273	14,68,914	1,55,83,099	32,238	2,82,156	32,949	1,19,523
2011-2012	6,75,796	94,39,987	6,67,612	43,98,815	13,43,408	1,38,38,802	33,123	3,15,544	33,582	1,23,187

表 14：チッタゴン港湾局 (内陸、内陸コンテナデポを含む) 合計輸出入量

会計年度	輸入 (トン)	輸出 (トン)	内陸 (トン)	ICD(内陸コンテナデポ) (トン)	総量 (トン)	成長率 (%)
2007-2008	2,53,46,048	36,00,520	25,02,615	5,74,685	3,20,23,868	05.71
2008-2009	2,67,18,834	37,63,747	26,36,341	5,46,580	3,36,65,502	05.13
2009-2010	3,28,13,208	41,87,968	27,37,168	4,92,247	4,02,30,591	19.50
2010-2011	3,99,14,145	49,80,037	47,72,786	5,32,053	5,01,99,359	24.78
2011-2012	3,61,84,935	47,16,374	65,48,490	5,72,141	4,80,21,940	(-)4.34

<sup>23</sup> <http://portal.cpa.gov.bd>

表 15： チッタゴン港における TOP10 輸出入業者

チッタゴン港における TOP10 輸入業者  
(2014 年 1 月～6 月)

企業名	総量
1. Maersk Bangladesh Ltd	64,090
2. Orient Overseas Container Line	24,460
3. Pacific International Lines	20,152
4. American President Lines Ltd	17,665
5. Compagnie Maritime d'Affrètement	17,315
6. Hanjin Shipping Co. Ltd	12,607
7. YangMing Marine Transport Corp.	11,304
8. Mediterranean Shipping Company	10,484
9. Gold Star Line Ltd.	10,446
10. Midland Shipping Lines Ltd	9,347

チッタゴン港における TOP10 輸出業者  
(2014 年 1 月～6 月)

企業名	総量
1. Midland Shipping Lines Ltd	38,005
2. Compagnie Maritime d'Affrètement	18,982
3. Orient Overseas Container Line	18,006
4. Mediterranean Shipping Company	13,929
5. Hanjin Shipping Co. Ltd	13,163
6. Hapag-Lloyd	11,613
7. American President Lines Ltd	10,614
8. YangMing Marine Transport Corp.	8,557
9. Safmarine Container Lines N.V.	6,830
10. Nippon Yusen Kaisha	6,352

付録3： モングラ港貨物取扱実績等  
(出所：モングラ港湾局ウェブサイト24)

表 16：モングラ港年間取引量

年	No. of Ships called 寄港船			No of ships sailed 出航船			輸入 積荷量 (億トン)	輸出 積荷量 (億トン)	合計 積荷量 (億トン)
	Ships	IND-BD Protocol vessel & others	Total	Ships	IND-BD Protocol vessel & others	Total			
2000-2001	313	0	313	315	0	315	2462420	304041	2766461
2001-2002	288	0	268	266	0	266	1947384	305496	2252880
2002-2003	207	84	291	211	84	295	1450248	350268	1800516
2003-2004	170	276	446	170	271	441	1178544	315687	1494231
2004-2005	142	313	455	144	310	454	1254374	221798	1476172
2005-2006	131	254	385	131	260	391	1215072	267572	1482644
2006-2007	110	83	193	110	83	193	662263	252112	914375
2007-2008	95	33	1128	93	33	126	518309	204525	722834
2008-2009	139	12	151	140	11	151	929714	208112	1137826
2009-2010	156	34	190	153	34	187	1502050	147233	1649283
2010-2011	272	30	302	268	30	198	2529853	166418	2696271
2011-2012	234	31	265	239	29	168	2482432	137456	2619888
2012-2013 (2012年 9月まで)	63	42	105	59	42	101	703981	38835	742816

※ IND-BD Protocol Vessel & Others： インド主要部（亜大陸部）からインド北東部各州向け輸送を行うため、インドとバングラデシュの協定に基づき、協定上定められたルートを通り、定められた商品を輸送する船舶。

表 17：モングラ港湾局における合計輸出入コンテナ量

年	船舶の数	コンテナ (TEU)			輸入		輸出			積荷合計 (M. Ton) 合計
		荷揚げ	荷積み	合計	機械	綿	船舶の数	荷揚げ	荷積み	
2000-2001	47	9539	9389	18928	851	0	17583	87670	25147	131251
2001-2002	59	10490	10437	10927	1172	0	31204	105769	24338	162483
2002-2003	65	11730	12007	23737	317	0	26014	122159	23251	171741
2003-2004	51	13678	13470	27148	716	0	44574	121430	28943	195663
2004-2005	46	12993	12656	25649	320	0	58034	94004	34500	186858
2005-2006	44	12733	12838	25571	1321	0	24772	110142	37188	173423
2006-2007	47	12553	12789	25342	850	0	18710	107185	41607	168352
2007-2008	39	10588	10297	20885	4665	0	25737	79781	35591	145774
2008-2009	47	10437	10764	21201	755	0	24540	78968	38109	142372
2009-2010	33	10280	10371	20651	2376	0	25905	78350	37619	144250
2010-2011	44	13699	13424	27123	2698	0	70653	98935	39144	211430
2011-2012	35	15460	14585	30045	3233	0	120371	93996	34027	251627
2012-2013 (Till Sept 2012)	9	5896	5134	11030	725	0	52007	27700	11135	91567

<sup>24</sup> <http://www.mpa.gov.bd>

表 18 : モンガラ港湾局における合計輸出入量

年	ジュート	ジュート 製品	米	海老	骨粉	機械	タバコ	クレイ タイル	ビンロウ (実)	白身 の魚	革	一般 貨物	合計
2000-2001	150881	126545	22	24990	57	451	427	0	0	157	0	511	304041
2001-2002	123286	157645	0	24114	63	4	123	0	0	224	14	23	305496
2002-2003	165096	159508	0	23025	382	1307	103	0	0	226	0	621	350268
2003-2004	160648	119667	0	28643	106	4283	0	0	0	300	75	1965	315687
2004-2005	90755	94044	0	33438	213	0	0	0	0	759	177	2412	221798
2005-2006	122476	102423	0	37048	106	158	0	0	0	520	127	4714	267572
2006-2007	144908	60925	0	41248	297	0	0	0	0	359	0	4375	252112
2007-2008	127759	31488	0	35245	0	0	0	0	0	346	0	9687	204525
2008-2009	119324	38320	0	37633	0	0	0	0	0	560	0	1227	208112
2009-2010	85791	10482	0	37111	335	0	0	9417	2688	524	0	885	147233
2010-2011	89208	26124	0	38248	529	0	0	7656	2555	896	29	1173	166418
2011-2012	62934	27023	0	33440	1034	0	310	7064	3101	587	0	1972	137465
2012-2013	17317	17753	0	13603	0	0	30	1862	272	60	0	726	51623

## 付録４ 主要海運代理店及び船舶オーナーリスト

表 19 : 外航海運代理店

Shipping Agents Name	Address	Phone	E-mail	Remarks
ALBATROSS SHIP AGENCIES LTD.	House-19,Road-1,Lane-1,Block-L, Halishahar H/Estate,Chittagong-4100, Bangladesh.	+8801711721534 +8801711878839	albtrsp@colbd.com, albtrsp@agni.com	Handles Chartered Vessel - Steel Coil, Wood Pulp
ANGEL SHIPPING LTD	Paltan Tower, 7th Floor, Suite # 707,87 PuranaPaltan Line, Dhaka - 1000,Bangladesh	+88028360378, +88029359401, +88029359178, +8801819220362 +8802712647, +88022521490	www.angelshippingbd.com	
APL(BANGLADESH) PVT. LTD	11 <sup>th</sup> Floor, Land View Commercial Centre, 27 No Gulshan, CA, GU, Dhaka	+8801713103622 +8802714063	enamul_hoque@aapl.com,masud_sadeque@apl.com	Handles Container Vessel of APL
ARGO SHIPPING SERVICES LTD	Reza Plaza (3rd Floor)Plot # 56, Road # 12, Block # J,Baridhara, ProgotiSharani, Dhaka- 1212 Bangladesh	+8802714307-8	agency@argoship.net	Handles Container Vessel of - Steel Coil/Log
ATLAS SHIPPING LINES LTD.	Skylarkpoint,6 <sup>th</sup> floor,24/A Bijoynogor,Dhaka-1000	+880293550167, +88028314345, +8801199852202 +8801711808482	wrc786@atlasctg.com	Handles Container Vessel of - Cement Clinker
AUSTRALIAN NATIONAL LINE	13th Floor, Land View C/C28, Gulshan North C/A,GulshanCircle-2Dhaka-1212, Bangladesh	+88028827848, +8802882 8515		
BANGLADESH SHIPPING CORPORATION	BSCTower(3rdFloor),Rajuk Avenue,PlotNo2&3,DainikBanglarMoor,Dhaka-1000	+8801717025638 +8029553524, +88029553568	gm- cht@bsc.gov.bd	National Flag Carrier
BARIDHI SHIPPING LINES LTD	46,kawran bazaar commercial area, Dhaka	+8801711796281 +88029115183, +88028110993	somosman@baridhi.com	Agents for Evergreen & handles container vessel
BENCON SEATRANS LTD.	3/f HRC Bhaban, 6466agrabad c/a, Chittagong	+880031714800	bencon@mkrgroup.com	Handles Container Vessel of - Cement Clinker, Lime stone
BRAVE ROYAL SHIPPING LTD	Kabir Manzil, SK. Mujib Road, Agrabad, Chittagong-4100.	+8801713105211 +88031715222, +88031711223, +88031718430		Brave Royal Shipping Ltd. - Ship Owner - Cement Clinker
China Ocean Shipping Company	Suite C-4, (4th floor), Rupayan Golden Age, 99, Gulshan Avenue, Dhaka - 1212, Bangladesh	+88029880357 +88029885791	cfs@coscobd.com, infos@coscobd.com	Agents for Cosco Shipping China - Handles GI Vessel
CHINA SHIPPING CONTAINER LINES CO. LTD.	Jahangir Tower, (5th Floor), 10, KaziNazrul Islam Avenue, Kawran Bazar	+88029125792, +8808122572		
CMA CGM BANGLADESH SHIPPING LTD	Shahjadi Chamber(2nd floor), 1331/B, SkMujib road, Agrabad C/A, Chittagong	+8801730312705, +880312516201	chi.walam@cma-cgm.com	Agents for CMA CGM INC. Handles container vessels
ELITE SHIPPING LINES	Akhtaruz Zaman Center (7th floor), Chittagong, Chittagong Division 4100	+8801711761620, +880312519730-32	unitedctg@colbd.com	Handles Chartered Vessel & subsidiary of Meghna Group

EVEREX LINER AGENCIES LIMITED	PINEVIEW(1STFLOOR),10 OAGRABAD C/A, CHITTAGONG.	+8801711721122, +88031721448	ops@everettbd.com	Agents for Everett Line Inc& ECL
EVERGREEN	Baridhi Shipping Lines Ltd. Suite no. 902, HRC Bhaban, 46 Kawran Bazar C/A, Dhaka	+88029115183	www.evergreenline.com	
GBX LOGISTICS LTD	25 GulshanAve, Dhaka,Bangladesh	+8801755511643	import.ocean@gbxlogistics.com	Agents for OEL & handles container vessel
GLOBE LINK ASSOCIATES LIMITED	House No. 194, 3rd Floor, Road No. 1; DOHS, Mohakhali, Dhaka-1206, Bangladesh	+8802871590203	captbari@globelink.biz	Agents for Simatech Shipping Pte -handles container vessel
GP SHIPPING LINES LIMITED	AminMohiuddinFoundation ,(Amin Court), 31, (Old 62-63 Motijheel C/A), Room #803,8 <sup>th</sup> Floor,Dhaka, 1000 Bangladesh.	+8801711521630, +88022514124, +88022514125	liaquat@gpslbd.com	Agents for Orient Overseas Cont. & handles container vessel
HANJIN SHIPPING BANGLADESH LTD	HR Bhaban, Kakrail,Dhaka-1000	+8801730730697, +8807149814	reyad@bd.hanjin.com	Agents forHanjin Shipping & handles container vessel
HAQUE &SONS LIMITED	House No-12, Road No-8, Sector-3,Uttara Model Town, Dhaka, Bangladesh.	+8801711790097, +8802 891390507	haqsonsdhk@haqsons.com	Agents for TOKO Line Japan & carries Steel Coils
HYUNDAI MERCHANT MARINE CO. LTD	National Scout Bhaban (14thFl), Inner Circular Road, Kakrail, Dhaka			ocean@bdonline.com
INTER MODAL PTE LTD	National Scout Bhaban, 14th Fl 70/1InnerCircular Rd,Kakrail, Dhaka, Bangladesh	+88029333915	rafique.uddin@ctpath.net	Agents for Samudera Shipping - Handles Container vessel
JN SHIPPING LINES	KASHFIAPLAZA (2NDFLOOR),923/A, SK.MUJIBROAD , AGRABADC/A, CHITTAGONG .	+8801819318055, +8802710377,	alamgir@jnshipping.com	Agents for VASI Shipping Pte Ltd. & handles container vessel
LITMOND SHIPPING LIMITED	Litmond Shipping Limited SharifMansion (3rd Floor) 56-57, Motijheel C/A ,Dhaka-1000, Bangladesh	+8801713009591, +8801199851219	LITSHIP@CITECHC.NET	Handlescharteredvessel - Cement Clinker
MAERSK LINE	Plot - 76/A (4th floor), Road - 11 Block - M, Banani	+88028834771	www.maerskline.com	
MARINERS TRANSPORT SYSTEM CO. LTD	ISABELLATOWER (LEVEL6TH),PLOT NO.1	+8801726122133, +88020312517851 ,+880225288034	shipping@marinerstransport.com, marinerstransport@yahoo.com	Handlescharteredvessel - Ammonia loading, Oil products
MCC Transport (MAERSK BANGLADESH LIMITED)	Road #11, House #76/A (4th & 5th Floor), Block-M, Banani, Dhaka-1213	+880288376214		Agents for MCC Transport & handles container vessel
NIPPON YUSEN KAISHA (NYK LINE)	Landview Commercial Center (14th Floor), 28 Gulshan North C/A, Gulshan Circle 2, Dhaka 1212, BANGLADESH	+8801755516155/56, +88029852703, +88029853193, +88029853593 , +88029856664 , +880 9856665	bgd_info@bd.nykline.com	Agents for NYK Line & handles Container vessel and Car Carrier

ORIENT OVERSEAS CONTAINER LINE	Crystal Palace (9th Floor)House # 22,Road#140, Block# SE(D), Gulshan South Avenue, Dhaka-1212, Bangladesh.	+88029893969, +88029861217, +88039855961, +88029893973	www.oocl.com	
PIL (BANGLADESH) LTD	26/1, H.R. Bhaban, Kakrail, Dhaka - 1000	+8801755637177, +880283151167, +88028315303	<a href="mailto:gopakumar@cgp.pilship.com">gopakumar@cgp.pilship.com</a>	Agents for ACL SIN & handles container vessel
PRIDE SHIPPING LINES	2507/3977NORTHPATENG A,CHITTAGONG.	+8801199708916, +88022520959		Handles chartered vessel carrying Oil products
SAFE SHIPPING LINES LTD	2507/3977 NORTH PATENGA,CHITAGONG.	+8801711761006, +8801711761006, +880711982	<a href="mailto:safeco@bbts.net">safeco@bbts.net</a>	Handles chartered vessel - Cement Clinker
SARAF SHIPPING AGENCY	Saraf shipping agency, room #802, southland center, Agrabad, Chittagong.	+8801711761006, +88020711982, +88022521551	<a href="mailto:safeco@bbts.net">safeco@bbts.net</a>	Handles chartered vessel - Cement Clinker
SEA CONSORTIUM BANGLADESH LTD.	Finlay house (5th floor), Agrabad, c/a, Chittagong.	+8801713104495, +8802724619	<a href="mailto:michael@xpressfeeders.com.bd">michael@xpressfeeders.com.bd</a>	Agents for Xpress Feers- Handles container vessel
SEA MARINE SHIPPING LINES	SHRTower,AgrabadC/A, Chittagong	+8801712024073, +88022510425	<a href="mailto:shahid.mahmud@trident-bd.com">shahid.mahmud@trident-bd.com</a>	Agents for Gold StarLine; Handles container vessel
SEACOM SHIPPING LIMITED	Taher chamber (2nd floor), 10, Agrabad c/a, chittagong-4100.	+8801711721241, +880317116115, +88027119113	<a href="mailto:shipping@seacomgroup.com">shipping@seacomgroup.com</a>	Handles chartered vessel - Cement Clinker, food grains
TRIDENT SHIPPING LTD.	Concord I.K. Tower, 5th Floor, Plot No # 2,Block # Cen (A), North Avenue, Gulshan-2, Dhaka	+88029892411, +8820288,881880 1, 8814457	<a href="mailto:shahid.mahmud@trident-bd.com">shahid.mahmud@trident-bd.com</a>	Agents for Gold Star Line - Handles container vessel
WILHELM SENSHP SERVICE LIMITED	SHAFIBHABAN(3RDFLOOR),1216/A, SK. MUJIB ROAD, AGRABAD C/A, CHITTAGONG	+8801711815159, +880317131403	<a href="mailto:shazzadur.rahman@wilhemsen.com">shazzadur.rahman@wilhemsen.com</a>	Agents for Wilhelmsen - Steel Products
YangMing Marine Ltd	Jahangir Tower 5th Floor, Kawran Bazar 10, KaziNazrul IslamAvenue Dhaka 1215	+88028115528		

表 20 : 主要船舶オーナー企業

Company Name	Address	Phone	E-mail
Bangladesh Shipping Corporation	BSC Bhaban, Saultgola Road, Post box No.-641, Chittagong	+880-31-725680	md@bsc.gov.bd
M/S.HRC Shipping Ltd	HRC Bhaban, 64-66 Agrabad C/A,Chittagong	+880-31-710320	
Prime Shipping Lines	Road-19, House-86, CDA R/A, Chittagong	+880-2-8816731	info@primeshipping.com
M/S. Brave Royal Shipping Ltd	Kabir Manzil, Sk.Mujib Road, Agrabad, Chittagong	+880-31-2513791-4	N/A
M/S. S.R. Shipping Ltd	Kabir Manzil, Sk.Mujib Road, Agrabad, Chittagong	+880-31-2513791-4	N/A
Bashundhara Shipping Ltd.	City Tower(Level-8), 13/ka/1, Panthapath,Dhaka	+880-2-8119006	info@bg.com.bd
Continental Liner Agencies	Facy bulding(1st Floor) 87 Agrabad C/A, Chittagong	+880-31-724257	N/A
M/S.Alunited Maritime Business(Pvt) Ltd	House-317,Road-14,CDA R/A Agrabad,Chittagong	+880-31-714425	alunited@dhaka.net
M/S.Abul Khair Shipping Ltd	DT Road, Pahartoly, Chittagong	+880-31-714541-44	N/A
M/S.Maa Shipping (Pvt) Ltd	Kabir Manzil, Sk Mujib Road, Agrabad, Chittagong	+880-31-2513791-4	N/A
M/S.J.K Maritime Ltd	Dhaka, Metropolitan Scout Bhaban (2nd floor) 54 Inner Circular Road Purana Paltan Line,Dhaka-1000	+880-2-8318551	N/A
M/S.Vangurd Maritime Ltd	Agrabad, Chittagong	+880-31-2510457	nfo@bsagroupbd.net
M/S. M.R Trading	BCIC Bhaban(16th Floor) 30-31 Dilkusha C/A, Dhaka	+880-2-8816731	N/A
M/S.Ruby Shipping Lines Ltd	Faruk Chamber(2nd Floor), 1403 Sk Mujib Road, Chittagong	-	N/A
M/S. S Shipping Line	Noor Chamber, 34 Agrabad, Chittagong	-	N/A
M/S. Western Marine Services	HBFC Building, Agrabad, Chittagong		wms@wms.com.bd
M/S. Trans Ocean Line Ltd	27 Banani C/A, Road-17, Dhaka-1213	+880-2-8859604-10	N/A
M/S.Jahan Marine(Pvt) Ltd	Kabir Manzil, Shechik Mujib Road, Agrabad, Chittagong	+880-31-2513791-4	N/A
M/S. EC Bulk Carriers Limited	East Coast Centre, SW(G)8, Bir Uttam Mir Shawkat Road, Gulshan-1, Dhaka-1212	+880-2-8813597	<a href="mailto:eastcoast@ecg.com.bd">eastcoast@ecg.com.bd</a>
M/S. IG Navigation Ltd	282 Khatungonj, Chittagong	+880-31-2867551-2	N/A
M/S.Vangurd Maritime Ltd	Agrabad, Chittagong	+880-31-2510457	info@bsagroupbd.net
MJL Bangladesh Limited	Mobile House, Gulshan, Dhaka-1212	+880-2-8813661	N/A
Ratanpur Shipping Services Ltd	Rupayon Golden Age(7th Floor), Gulshan Avenue, Dhaka-1212	+880-2-9892936	N/A
Meghna Ship Builders & Dockyard Ltd	House-15, Road-34, Gulshan-1, Dhaka-1212	+880-2-9887545, 9889490, 9884791	info@meghnagroup.biz
Janata Flour & Dall Mills Lines Ltd	Fresh Villa, House-15, Road-34, Gulshan, Dhaka-1212	+880-2-9889490	info@meghnagroup.biz
Azline Shipping Lines Ltd	Fency Building(1st Floor), 87Agrabad, Chittagong	+880-31-724257	N/A

付録5： 造船企業リスト

企業名	住所		社長名	コンタクト先 (国番号+880)	企業 Website
	本社	造船工場			
ANANDA SHIPYARDS AND SLIPWAYS LTD.	10/1 (9th Floor), City Heart,67 Nayapaltan, Dhaka 1000, Bangladesh	Narayangonj, Meghnaghat, Shonargaon, Dhaka, Bangladesh	Abdullah Nazma Nowroz Bsc Engg (Electrical & Electronics) Summa Cum Laude, Boston university Msc Engg (Electrical & Electronics) University of Southern California, USA Pursuing PhD, Brown University, USA	Head Office Tel: 9352031-3, 9330609, 9331510 Fax: 02-8312681  Shipyard Factory Phone:0192999-2122, 2190, 017-14035450, 11587934	<a href="http://www.anandashipyard.com">http://www.anandashipyard.com</a>
WESTERN/MARINE SHIPYARD LTD.	Amin Future Park (7th floor) 1440/A Strand Road, Chittagong-4100, Bangladesh.	Kolagaon, No.4, Kolagaon Union, Patiya,Chittagong, Bangladesh.	MD Sakhawat Hossain Marine Engineer Class -1, (Motor), U.K.- 1989, Managing Director	Emails: Common: <a href="mailto:wms@wms.com.bd">wms@wms.com.bd</a> Newbuilding enquiry: <a href="mailto:sabbab@wms.com.bd">sabbab@wms.com.bd</a> Procurement: <a href="mailto:airfuzaman@wms.com.bd">airfuzaman@wms.com.bd</a> Public Relation/Media/Events: <a href="mailto:s.bashar@wms.com.bd">s.bashar@wms.com.bd</a> Human Resource: <a href="mailto:hr@wms.com.bd">hr@wms.com.bd</a> IPO info: <a href="mailto:ipo@wms.com.bd">ipo@wms.com.bd</a> Shipyard Factory Phone: 031 253 0035, 031 2513056 Fax: 031 253 0038	<a href="http://www.wms.com.bd/">http://www.wms.com.bd/</a>
KHULNA SHIPYARD LTD.	Khulna Shipyard Limited (KSY), Bangladesh Navy, Khulna- 9201, Bangladesh		Commodore Syed Irshad Ahmed (E), ndc, afwc, psc, BN, Managing Director, KSY	Tel: 041-720003, 813975, 2830988 Fax: 041-720404 E-mail: <a href="mailto:contact@khulnashipyard.com">contact@khulnashipyard.com</a>	<a href="http://w3.khulnashipyard.com/">http://w3.khulnashipyard.com/</a>
WEST COAST SHIPBUILDING INDUSTRIES LTD.	Dilara Tower (4th Floor), 77, Bir Uttam C.R. Datta Road, Hatirpul, Dhaka- 1205, Bangladesh	Goal Gaon, P.O: Hossendi, Gajaria, Munshiganj-1512, Bangladesh	ABM Fazle Elahi Managing Director & President of Executive Committee	Corporate Office Phone: 02 8615 405, Fax: 02 8615 406 e-mail: <a href="mailto:info@westcoast-group.com">info@westcoast-group.com</a>  Shipyard Factory Hotline: 01 WEST COAST (9378 26278) e-mail: <a href="mailto:factory@westcoast-group.com">factory@westcoast-group.com</a>	<a href="http://www.westcoast-group.com/index.html">http://www.westcoast-group.com/index.html</a>
HIGH SPEED SHIPBUILDING & ENGINEERING CO. LTD.	103, Motijheel Commercial Area, Dhaka-1000, Bangladesh		K.M. Mahmood ur Rahman Managing Director	Corporate Office Phone: 02-9567197, 9566344, 9566347, 9566342 FAX: 02-9560140, 9566343	<a href="http://www.highspeed-groupbd.com/">http://www.highspeed-groupbd.com/</a>

KHAN BROTHERS SHIP BUILDING LIMITED.	24/I, Chamelbagh (5th floor), Shantinagar, Dhaka-1217, Bangladesh.	Hosendi, Gazaria, Munshiganj, Bangladesh.	Tofayel Kabir Khan B. Com (Hons), M.Com (Marketing), D.U Managing Director	E-mail: <a href="mailto:info@highspeed-groupbd.com">info@highspeed-groupbd.com</a> <a href="mailto:info@birdschk.com">info@birdschk.com</a> Corporate Office Phone: 02-8332069, 8332108 Fax: 02-8332576 E-mail: <a href="mailto:info@kbsbl.com">info@kbsbl.com</a> Shipyard Factory Phone: 01730019571 Email: <a href="mailto:info@kbsbl.com">info@kbsbl.com</a>	<a href="http://www.kbgbd.com">www.kbgbd.com</a>
CHITTAGONG DRY DOCK LTD.	Chittagong Dry Dock Limited, P.O Air Port No-4205, East Patenga, Chittagong, Bangladesh	Engr. Md. Shahjahan Managing Director	Corporate & Shipyard Tel: 031-2501110, 2501112 E-mail: <a href="mailto:drydock.bd@gmail.com">drydock.bd@gmail.com</a> <a href="mailto:marketing@cddl.gov.bd">marketing@cddl.gov.bd</a> <a href="mailto:itcell@cddl.gov.bd">itcell@cddl.gov.bd</a>	<a href="http://www.cddl.gov.bd/">http://www.cddl.gov.bd/</a>	
KARNAFULY SHIP BUILDERS LIMITED	Chittagong Office: 944/A, Strand Road, Majhirgaht, Chittagong-4000 Dhaka Office: Flat #3C, House #06, (Nam Village), Road #02 Banani, Dhaka-1213	Commodore M Khurshid Malik (E) ndu.Psc.BN Managing Director	Chittagong Office: Tel: 031-616869, 627866, 2832315 Fax: 031-619519 E-mail: <a href="mailto:info@ksblbd.com">info@ksblbd.com</a> , <a href="mailto:ksblbd@gmail.com">ksblbd@gmail.com</a> Dhaka Office: Tel: 02-8833911 Fax: 02-882443 E-mail: <a href="mailto:ksblbdhaka@gmail.com">ksblbdhaka@gmail.com</a> <a href="mailto:ksblbdhaka@yahoo.com">ksblbdhaka@yahoo.com</a>	<a href="http://www.ksblbd.com/">http://www.ksblbd.com/</a>	
DOCKYARD & ENGINEERING WORKS LTD.	Bangladesh Navy, Sonakanda, Bandar, Narayangonj	Commodore M Khurshid Malik (E) ndu.Psc.BN Managing Director	Telephone: 02-76614820 Fax: 02-7661027 E-mail: <a href="mailto:dewitdb@yahoo.com">dewitdb@yahoo.com</a>	<a href="http://www.dewbn.com/">http://www.dewbn.com/</a>	

付録6： 主要造船会社 船舶建造実績（竣工ベース、2008～2013）

Year-2008				
Name	Capacity	Type	Builder	Client (Country)
M.V. Abe ZamZam	700 Persons	Passenger Vessel	High Speed	Bangladesh
M.V. Sharia-1	800 Persons	Passenger Vessel	High Speed	Bangladesh
Stella Maris	3,000 Cu. M.	MLP	Ananda Shipyard	Antigua & Barbuda
Machanga	58 Persons; Cargo	Passenger & Cargo Vessel	Ananda Shipyard	Mozambique
CuaCua	90 Persons; Cargo	Passenger & Cargo Vessel	Ananda Shipyard	Mozambique
Mpfumu	250 Persons; Cargo	Passenger & Cargo Vessel	Ananda Shipyard	Mozambique
Navalis	4,900 GT	MLP	Ananda Shipyard	Ilse of Man
Massique	96 Persons	Passenger & Cargo Vessel	Ananda Shipyard	Mozambique
Fast Patrol Boat (BGB)	96 Persons	Passenger & Cargo Vessel	Ananda Shipyard	Bangladesh
Oil Tanker (Bangladesh Navy)	2,774 DWT	Oil Tanker	Ananda Shipyard	Bangladesh
Year-2009				
Name	Capacity	Type	Builder	Client (Country)
M.T. Amena-1	10,000 DWT	Coastal Tanker	High Speed	Bangladesh
M.T. Fazilat	1,100 DWT	Coastal Tanker	High Speed	Bangladesh
M.T. Ebadee-5 (Elongated & Modified)	1,000 DWT	Coastal Tanker	High Speed	Bangladesh
O.T. Serjil-1	500 DWT	Shallow Tanker	High Speed	Bangladesh
Tug Sea Prince	500 HP	Tug	High Speed	Bangladesh
Year-2010				
Name	Capacity	Type	Builder	Client (Country)
Stella Moon	2,900 DWT	Multi-Purpose	Ananda Shipyard	Denmark
EMSRIVER	5,200 DWT	Multi-Purpose Dry Cargo Ship	Western Marine Shipyard	Germany
Year-2011				
Name	Capacity	Type	Builder	Client (Country)
Birshreshtha MD Ruhul Amin	27 trucks, 340 passengers & 27 crews	Ro-Ro Ferry	Western Marine Shipyard	Bangladesh
PV Rakkhi	12Passengers, 10Crews	Passenger	Western Marine Shipyard	Bangladesh
Emslake	5200DWT	MLP	Western Marine	Antigua Barbuda

Shipyard				
EmsDollart	5200DWT	MLP	Western Marine Shipyard	Antigua Barbuda
EmsSea	5200DWT	MLP	Western Marine Shipyard	Antigua Barbuda
EmsWave	5200DWT	MLP	Western Marine Shipyard	Antigua Barbuda
EmsTide	5200DWT	MLP	Western Marine Shipyard	Antigua Barbuda
EmsWater	5200DWT	MLP	Western Marine Shipyard	Antigua Barbuda
Ferry Kishani	N/A	Ferry	Khulna Shipbuilder Ltd.	Bangladesh
<b>Year-2012</b>				
Name	Capacity	Type	Builder	Client (Country)
CB BALLIAN	3.5 ton	Crane Boat	Western Marine Shipyard	Bangladesh
CD IMAM BOKHARI	3.5 ton	ConRo	Western Marine Shipyard	Bangladesh
EMSFLOW	5,200DWT	MLP	Western Marine Shipyard	Germany
STELLA ATLANTIC	4,100DWT	Multi-Purpose Dry Cargo Ship	Western Marine Shipyard	Not Yet Sold
FB AFZA ALTAF	200passengers	Passenger Ship	Western Marine Shipyard	Bangladesh
FB ARFA KARIM	200passengers	Passenger Ship	Western Marine Shipyard	Bangladesh
<b>Year-2013</b>				
Name	Capacity	Type	Builder	Client (Country)
FT Agro Food Ships	300 tons	Deep Sea Mid Water Fishing Trawler	Western Marine Shipyard	Bangladesh
Inland tankers	1,350 DWT	Motor Tanker	Western Marine Shipyard	Bangladesh
ISEFJORD RORO FERRY	475 Tonnage	Ro-Ro Ferry	Western Marine Shipyard	Denmark
FV Alliance-1	250 tons	Fishing Trawler	Western Marine Shipyard	Bangladesh
KANDARI 7	1,300 dwt	ConRo	Western Marine Shipyard	Bangladesh
ML GANGCHIL	10 persons	Pilot Vessel	Western Marine Shipyard	Bangladesh
M.V. BANGALI	750 passengers	Passenger	Western Marine Shipyard	Bangladesh
PATROL CRAFT (5)	N/A	Patrol Craft	Khulna Shipyard Ltd	Bangladesh

Source:各社ヒアリング等

## 付録7： バングラデシュにおける関連省庁及び業界団体リスト

団体	住所	会長/社長名	電話番号	従業員数	ホームページ
BANGLADESH CARGO VESSELS OWNERS ASSOCIATION	15/5BijoyNagor,AkramTower,5th floor, room no#1 & 2, Dhaka-1000	Mr. Mahbub Uddin Ahmed	+8801711563257, +88029358985, +8801711645211, +880181466236	2000	
BANGLADESH FREIGHT FORWARDERS ASSOCIATION	House # 45/E (Ground Floor), Road # 13/C, Banani, Dhaka- 1213, Bangladesh	Mr.Mahbubul Anam	+88028836324, +88029881663		
BANGLADESH INLAND WATER TRANSPORT AUTHORITY (BIWTA)	BIWTABhaban141143 ,MotijheelCommercial Area Dhaka-1000	Dr. Md. Samsuddoha Khondake	+8802955615155		
BANGLADESH INLAND WATER TRANSPORT CORPORATION	BIWTC Bhaban5, Dilkusha Commercial AreaDhaka-1000 Bangladesh	Mohammad Mizanur Rahman	+8802955503233		www.biwtc.gov.bd
Bangladesh Shipbuilders' Association	103, Motijheel C/A, Dhaka 1000	Mr. Iftekar Hossain	+8801711 544847		
BANGLADESH SHIPPING AGENTS ASSOCIATION	Jiban Bima Bhaban,2nd Floor,46 KDA,Ave,Khulna, Bangladesh	Mr.Anwarul Houque Tariq	+88041720886, +88041720295	809	-
BANGLADESH SHIPPING CORPORATION	BSC BhabanSaltgola Road, P.O. Box No. 641Chittagong-4100, Bangladesh	Mr. Shajahan Khan, M.P.	+8803125211628 (PABX)		www.bsc.gov.bd
COASTAL SHIP OWNERS ASSOCIATION OF BANGLADESH (COAB)	75/AKakraiGround Floor, Dhaka 1000,Bangladesh	Mr.Gazi Belayet Hossain	+88029353839, +8801711639944	45	-
DEPARTMENT OF SHIPPING	BIWTABhaban,141143MotijheelC/A,Dhaka 1000,Bangladesh	-	+8802951330506		www.dos.gov.bd
LAUNCH OWNERS ASSOCIATIONS OF BANGLADESH	IWTATerminalBuilding Sadarghat, Dhaka-1100	K. M. Mahmudur Rahman	+88027119921, +880295671970	25	
SHIPPERS COUNCIL OF BANGLADESH	Elite House (9th floor), 54, Motijheel C/A Dhaka 1000 Bangladesh	Md. Rezaul Karim	+88029556494, +88029568520	358	
Ministry of Shipping (MOS)	Banga Bandhu Avenue, Dhaka, Bangladesh	Mr. Shahjahan Khan, Minister of Shipping	+8801716724681		www.mos.gov.bd
Water Transport Cell	Saiham Skyview Tower, 5th Floor, Suite#5-C, 195 Shahid Syed Nazrul Islam Swaran Dhaka-1000	Mr. Khushid Alam	+88029330773		www.watertransportcell.com

出所：各機関ヒアリング等

## 付録 8: 輸入方針法令 2012-15(商務省)より抜粋 船舶及び機械輸入関係

14. VESSEL & MACHINERY IMPORT POLICIES EXTRACTED FROM THE IMPORT POLICY ORDER 2012-2015 (MINISTRY OF COMMERCE)

### Vessels Policy:

---

#### CHAPTER TWO

#### General Provisions for Import

**(5) Import against Import Permits and in special cases against Clearance Permit (for clearance of goods on payment of fine)-** In the following cases, neither LCA Form nor opening of L/C will be necessary; but Import Permit (IP) or Clearance Permit (CP) will have to be obtained by the importer, as for example---:

**(a)** Import of books, magazines, journals, periodicals and scientific and laboratory equipment's against surrender of UNESCO Coupons;

**(b)** Import under Pay-As-You-Earn-Scheme in the following cases only on the basis of clearance of the Bangladesh Bank:

- (1) New or not exceeding ten years old plant and machinery of permissible specification;
- (2) New or not exceeding five year old motor cars;
- (3) Cargo or passenger vessel of steel or wooden bodies, including refrigerated vessel of any capacity either new or not exceeding fifteen years old :Provided that in case of ocean going old ships, not exceeding twenty five years old shall be importable;
- (4) Import of plant and machinery for export-oriented industrial units with the clearance of the competent sanctioning authority, wherever necessary;
- (5) Trawlers and other fishing vessels, either new or not exceeding twenty five years old: Provided that for import under this scheme the sanctioning authority of such import shall forward a copy of sanction letter to the Chief Controller and the importer shall apply to the CCI&E along with necessary papers for prior permission;

## 第 I. 章

### 第 II. 章 CHAPTER SIX

#### THE RULES OF IMPORT BY COMMERCIAL IMPORTERS

- (37) **Sea-going Vessels, oil tankers and fishing trawlers** (H.S. Heading No. 89.01 & 89.02 and all H.S. Code classifiable under this Heading)- Sea going Vessels, oil tankers and fishing trawlers of more than 25 (twenty five) years old shall not be importable.
- (38) **Warships of all kinds** (both new & second-hand) (H.S. Heading No.89.06 and all H.S. Code classifiable under this Heading)- All kinds of warships are importable only by the Ministry of Defense.
- (39) **Scrap Vessels:--** In case of import of scrap vessels (HS Heading No. 89.08), a certificate to the effect that “no poisonous or hazardous waste except inbuilt materials of the ship is not being carried” issued by the last exporter or owner and a declaration of the importer must be submitted with shipping documents.

Provided that, provisions of Bangladesh Environment Protection Act 1995 (Act No. 1 of 1995) and rules and regulations thereon shall be observed in case of ship breaking.

#### Machinery Policy:

---

### 第 III. 章 CHAPTER SIX

#### THE RULES OF IMPORT BY COMMERCIAL IMPORTERS

25. (1) **Commercial Import** – Commercial import will normally be made under cash foreign exchange but subject to availability of fund import of commercial items may be allowed under Government allocation. In such cases the name of items, source of finance and other terms and conditions for commercial import will be notified by the Chief Controller from time to time.
- (2) **Import of industrial raw materials, packing materials and spares parts by commercial importers---** Industrial raw materials, packing materials and spares parts which are not included in the banned and restricted lists shall be freely importable under cash foreign exchange by commercial importers.

(3) **Commercial import by Foreign Firms-** Foreign Firms registered in Bangladesh under the Companies Act, 1994 (XVIII of 1994) shall be allowed to import permissible commercial items against their commercial IRC, without any prior permission from the Chief Controller. However, in such cases of import of commercial items foreign firms shall inform the Office of the Chief Controller of Imports and Exports in writing the detailed information of the item (e.g. HS code of the item, description of the item, quantity, value, name and address of the exporting foreign firm etc.) before importation.

(4) **Import of capital machinery for commercial purpose-** Commercial importers may import permissible new and second hand or reconditioned items of industrial capital machinery & generator or generating set under cash foreign exchange without any value limit for commercial purpose by complying the rules & regulations of this order.

(50) **second hand/reconditioned engines and gear boxes-**

(b) Secondhand/reconditioned marine diesel engines above 35 (thirty five) horse power used in coasters, launches and self-propelled barges and other watercrafts of this type will be commercially importable.

(仮訳)

## 船舶に関する規則

### 第 2 章

#### 輸入のための一般法規

(5) **輸入許可書に対する輸入と特別な場合における通関許可書に対する輸入（罰金の支払いにおける商品の通関について）** — 次の場合においては LCA フォームも L/C の開設も必要としない。しかし輸入許可(IP)または通関許可（CP）が輸入業者によって用意されなくてはならない。

例：

- (a) ユネスコ・クーポンとの引き換えによる書籍、雑誌、ジャーナル、定期刊行物及び科学研究装置の輸入
- (b) **バングラデシュ銀行の通関に基づき下記の場合に限り源泉課税のもとでの輸入**

(6) 新品または 10 年を超えないプラントや許可可能な仕様の機械

(7) 新品または 5 年を超えない自動車

(8) 鉄製または木製の貨物または客船、載積量に関わらず新品か 15 年を超えない冷蔵船を含む：海洋中古船の場合、25 年を超えない(未満)ものであれば輸入可能である。

- (9) 輸出指向産業工場向けの法的権限のあるいかなる認可当局からの通関手続きを受けたプラントや機械の輸入
- (10) トローリー船やその他の漁船、新品または 25 年を越えないもの：このような輸入をこの認可当局の仕組みで輸入する場合は認可書のコピーををチーフ・コントローラーに送り、輸入業者は必要な書類を添えて事前許可を CCI&E に申請するものとする。

## 第 6 章 商業輸入業者による輸入の規則

- (37) **海洋船、石油タンカー及び漁業用のトローリー船** (H.S. 頭文字 No. 89.01 と 89.02 及びこの頭文字の下で分類されている H.S. コード全て) - 25 年以上の海洋船と漁業用トローリー船の輸入は許可されていない。
- (38) **全ての種類の戦艦** (新品及び中古)(H.S. の頭文字が No.89.06 及びこの頭文字の下で分類されている H.S. コード全て)- 全ての種類の戦艦は国防省のみにより輸入可能である。
- (39) **スクラップ船**-スクラップ船 (HS コードの頭文字が No. 89.08) の場合、最後に輸出した業者または船のオーナーにより発行された「船は本来備わっていたもの以外有毒または危険は廃棄物を運んでいない」という事実の証明書と輸入業者の宣言書を船積書類に添えて提出されなくてはならない。

上記の場合、船の解体に際して、バングラデシュ環境保護法 1995（法令 1、1995）の規定とその規則と法規に従うものとする。

### 機械に関する規則

---

#### a. 第 6 章 商業輸入業者による輸入の場合

25. (1) **商業輸入** -商業輸入は一般に現金(外国為替)のもとで行われる。しかし、商業アイテムが基金輸入可能な場合は、政府の分配金の下で輸入が可能である。この場合、アイテム、財源そして商業輸入のための条件がチーフ・コントローラーにより時々通知される。

**(2)商業輸入業者による産業用原材料、梱包材料及びスペアパーツの輸入：**

禁止制限リストに載っていない産業用原材料、梱包材料そしてスペアパーツは商業輸入業者により現金(外国為替)で自由に輸入することができる。

**(3)外国会社による商業輸入：**会社法 1994 (XVIII、1994) によりバングラデシュで登録されている外国会社はチーフ・コントローラーからの事前の許可なしで彼らの商業 IRC に対し輸入可能な商品を輸入することが許されているものとする。しかし、商業アイテムの輸入の場合、外国会社は輸入前に輸入輸出のチーフ・コントローラーの事務所にアイテムについての詳細（アイテムの HS コード、アイテムの詳細説明、量、価格、そして輸出を取り扱う外国の輸出会社名と住所など）を記して報告しなければならない。

**(4) 商業目的のための資本機械の輸入**：商業輸入業者は輸入可能な新品または中古またはリコンディションされた産業資本機械及び発電機または発電機セットをこの法令の規定に従い商業用目的のために無制限に現金(外国為替) で輸入することができる。

**(50) 中古/リコンディションのエンジンとギアボックス**：

(b) コースター、ランチそして自動推進艇、およびこのようなタイプの船舶で使われる 35 馬力以上中古/リコンディションのマリーン・ディーゼル・エンジンは商業目的で輸入することが可能である。

## 付録 9: バングラデシュ長期ビジョン 2010-2021 (造船関連部分抜粋)

### PERSPECTIVE PLAN OF BANGLADESH 2010-2021

#### MAKING VISION 2021 A REALITY

General Economics Division

Planning Commission

Government of the People's Republic of Bangladesh

2012 April

### CHAPTER 5: INDUSTRIALIZATION IN A COMPETITIVE WORLD

#### 5.3 Strategic Policies for the Manufacturing Sector

- In view of emerging opportunities in the global market, and by making best use of the preferential market access treatment offered to Bangladesh as an LDC, initiatives will be taken to ensure competitiveness of potential labour-intensive manufactures beyond textiles and RMG or leather goods, into products such as toys, agro-processing, auto parts, electronics and light engineering.
- Thrust will be given to SME-based industrialization that will be labour-intensive, spatially decentralized, users of indigenous raw materials, and will be serviced by adequate human resources and technology adoption and transfer. The aim will be to cater to the growing domestic market, and to enable SMEs to link-up with foreign markets through a package of support including credit, common services, upgrading of skills and institutional support. The SME strategy will network the short gestational and highly job intensive micro and small industries in the agro-based, poultry, livestock and fish related projects aiming to produce balanced fertilizer, biogas energy, milk products, poultry products, handicrafts, and horticultural goods for markets at home and abroad.
- Policy support and promotional initiatives will be put in place to realize emerging opportunities in new sectors identified as thrust sectors in the Industrial Policy 2010. These include ICT -based sectors, food, beverages, light engineering, high-end readymade garments, pharmaceuticals, **ship-building** and others. Export incentives such as bonded warehouse facilities, duty drawback, and infrastructural support in the form of establishment of industrial park, dedicated private sector EPZs and SEZs will be put in place to stimulate their growth.
- FDI will be encouraged through various policy incentives to stimulate access to technology and frontier knowhow, to access global market opportunities and take advantage of the growing regional market.
- Developing Bangladesh as an exotic tourist destination in Asia and increase tourism's contribution to GDP from 0.70 to 2 per cent by 2015 and then to 5 per cent by 2021.
- The capital market will be further liberalized, reformed and deepened to create opportunities for raising equity capital to support industrial sector growth. Appropriate mechanisms will be put in place to stimulate, and promote mobilization of resources from small domestic savers in the country's capital markets and to attract portfolio investment from foreign investors.
- Adequate support will be given to service-sector based industries. In view of the developing demand, both in the domestic and global markets, appropriate support will be given to the development of ICT based industries. A credible standardization and certification mechanism of international standard will be established.
- Whilst privatization of identified SOEs will continue, strategically placed SOEs will be provided with adequate support to run as commercially viable, profitable organizations, if need be with blending of public sector ownership and private-sector management.
- Institutions related to industrial development (such as BOI and BEPZA) will be provided with

adequate resources to enable them to function efficiently so as to stimulate domestic investment, FDI and joint ventures.

- The jute industry is expected to grow further in view of the eco-friendliness and biodegradability of jute products. Developing diversified jute products through appropriate use of technology, developing different product mix of jute and other natural fibres will be encouraged, and Bangladesh Jute Research Institute (BJRI) will be strengthened.

## **CHAPTER 9: TRANSPORT AND COMMUNICATION FOR THE FUTURE**

### **9.1 Transport**

#### **Introduction**

Transport is vital in fostering economic growth and development. Securing improvement in transport system is therefore a major strategic objective to accelerate growth during the perspective plan period. The vision of the perspective plan is to establish a safe, low cost, modern and technologically dependable, environmentally friendly inter-modal transport system with a view to reducing the financial cost and time for both commercial traffic, cargo and for public transportation. Transport infrastructure development contributes to the expansion of markets, enhancement of regional trade and investment, all of which are conducive to economic growth and poverty reduction.

#### **9.2 Policy Objectives**

The main objective of the perspective plan with respect to transportation is to develop an efficient, sustainable, safe and regionally balanced transportation system in which various modes complement each other, interface appropriately and, where possible, provide healthy competition to each other. The broad policy objectives can be summarized as follows:

- Meeting the transport demand generated by higher rate of growth of GDP.
- Introduction of modern technology for increasing capacity and improving quality and productivity
- Development of the two sea ports. Establishment of effective railway linkages between the east and west zones of the country.
- Re-orientation of the development strategy for rural transport for efficient external access through optimal integration of road and inland water transport and off-road internal accesses.
- Efforts will be made to develop some of the critical inter-modal transport network that allows connectivity of neighboring countries to the two sea ports of Bangladesh.
- Efforts will also be made to fully participate in global and regional transport connectivity initiatives that help develop the land route links between South Asia and East Asia through Bangladesh.
- Improvement in resource mobilization will be made through introduction of user charges and fees.
- Provision of required incentive packages for the private sector for greater participation will be ensured, not only in transport services, but also for infrastructure building.
- Transport development strategy framework will be broadened by incorporating the vital urban transport dimension starting with improvement in transport services of greater Dhaka city.
- Adequate care will be taken while developing transport network and service so that these do not cause environmental pollution and affect ecological balance.

#### **9.3 Sub-Sectoral Goals, Objectives and Strategies**

##### **Inland Waterways**

The country possesses a navigable waterways network, which varies from 3,865 km during the dry season to 5968 km during the monsoon season. Potential exists for a virtually stagnant Inland Water Transport to play a significant role in the movement of people and freight. About one eighth of the rural

population has access to the transport system only through IWT. That compares favorably with access to road transport, as only 37 per cent of the rural population lives within two kilometers of an all-weather road.

### **Objectives**

During the perspective plan period activities relating to development of inland waterways would focus on dredging and resuscitation of dead and dying river routes, developments of inland river ports, providing navigable aids for smooth and safe movement of cargo and passenger vessels, improvement of waterways in and around Dhaka City for making surrounding rivers navigable and wider. All these activities will accelerate the infrastructure development and promote economic growth, which in turn will lead to poverty alleviation.

### **Strategies**

- Expansion of the dredging program including procurement of dredgers to improve existing channel conditions of inland waterways and provision of navigational aids for smooth navigation of water crafts.
- Establishment of inland container river port on priority basis.
- Upgrading port facilities (both cargo and passenger) as well as storage facilities and
- introduce mechanical equipment to handle cargo in order to save waiting time for berthing of vessels.
- Enforcement of safety regulations to reduce the number of accidents.
- Implementation of the development projects of rural launch landing stations. By providing pontoon facilities for smooth embarkation/disembarkation of passengers and loading/unloading of cargo.
- Implementation of projects for improving the traditional country boat sector.

### **Ports and Shipping**

The Maritime transport sector is critical to the economic development of Bangladesh. It contributes significantly to the country's foreign exchange earnings. Bangladesh needs to use its resources, both human and financial, in order to become a premier shipping center. The objective of the perspective plan is to promote efficient, effective and internationally competitive port and shipping facilities to enhance international trade and exports.

### **Strategies**

- Maintain and improve the navigational channel through capital dredging and regular maintenance dredging.
- Develop efficient inland distribution of container traffic by road, rail, and inland water transport to relieve the congestion and long travelling time at Chittagong Port.
- Expansion of terminal/yard facilities and improvement of operations through the acquisition of modern container handling equipment and procurement of harbour crafts and vessels.
- Urgent establishment of ICDs/CFS at all potential cargo distribution centres across the country.
- PPP in port management and port development infrastructure through a BOO/BOT model using a clear, transparent policy guideline.
- Improve institutional capability for training, planning, safety, and environment

この報告書はボートレースの交付金による日本財団の助成金を受けて作成しました。

## バングラデシュ海事産業概況調査

2015年（平成27年）3月発行

発行 一般社団法人 日本船用工業会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-13-3  
虎ノ門東洋共同ビル 5階  
TEL 03-3502-2041 FAX 03-3591-2206

一般財団法人 日本船舶技術研究協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-9 ラウンドクロス赤坂  
TEL 03-5575-6426 FAX 03-5114-8941

本書の無断転載、複写、複製を禁じます。

